

平成 28 年度～平成 32 年度

伊丹市第 2 次教育振興基本計画



平成 28 年 3 月

伊丹市教育委員会

はじめに

昨年（平成27年）4月に、約60年ぶりに教育委員会制度の改正が行われ、首長と教育委員会が教育行政について議論することを目的とした「総合教育会議」の設置や、教育の目標や施策の根本的な方針である「教育大綱」の策定が首長に義務づけられました。

こうした状況を踏まえ、本市では平成27年6月に、「伊丹市総合計画（第5次）」の教育に関する基本方針や政策目標を「基本大綱」とした「伊丹市教育大綱」が策定されました。

この「伊丹市教育大綱」を実現させるために、1年前倒しで「伊丹市第2次教育振興基本計画（H28～32）」を策定することとし、その具体的な事業内容については「伊丹市総合計画後期事業実施5カ年計画」をこれに充てるものとしました。

昨今、少子高齢化社会、人口減少を背景とした教育の在り方、グローバル人材の育成などが大きな課題となっています。

教育は、市民の多様な個性・能力を開花させ、人生を豊かにするとともに、社会全体の発展の基盤となるものです。そのためにも、一人ひとりが生涯にわたって主体的に学び、必要な能力を培い、その成果を社会に還元していかなければなりません。

このようなことから、「伊丹市第2次教育振興基本計画」においては、今後5年間の時代の潮流や本市の課題などを踏まえ、「子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育」、「ライフステージごとに学び活躍する人づくり」などに取り組んでまいります。

学校教育においては、授業の中で必要な「知識や技能」の習得を図るとともに、子どもたちが主体的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」等を取り入れ、主体的・協働的に問題を発見して解決していくために必要な「思考力・判断力・表現力」の育成、人間性や「学びに向かう力」の育成に全力を注いでまいります。

また、学校施設は、今後、児童生徒の学習・生活の場や避難所としての役割に加え、公共施設マネジメントの観点から地域の拠点施設としての活用も視野に入れる必要があり、引き続き適切な施設整備に努めてまいります。

社会教育においては、それぞれの社会教育施設の機能を充実させ、市民一人ひとりが生涯にわたって豊かな自己実現を図ることができるよう環境を整えるとともに、学びの成果を地域社会に還元してまいります。

また、順次、学校・家庭・地域が対等の立場で学校運営に関わる「コミュニティ・スクール」を導入してまいります。

これらの取組を通して、「伊丹の未来を担う人材の育成」に全力で取り組んでまいります。

平成28年3月

伊丹市教育長 木下 誠

目 次

はじめに

I 計画の策定にあたって	· · · · 1
--------------	-----------

- 1 策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画期間
- 4 対象範囲

II 教育をめぐる現状と課題	· · · · 3
----------------	-----------

- 1 教育を取り巻く環境の変化
- 2 伊丹市の現状

III 基本的方向性	· · · · 15
------------	------------

IV 施策体系図	· · · · 39
----------	------------

V 今後5年間の具体的な取組	· · · · 43
----------------	------------

VI 推進計画	· · · · 74
---------	------------

伊丹市第 2 次教育振興基本計画

I 計画の策定にあたって

1 策定の趣旨

教育基本法により、国は、平成 25 年に教育の施策に関する総合的かつ計画的な推進を図ることを目的に「第 2 期教育振興基本計画」を策定した。法により、地方公共団体は、国の教育振興基本計画を参照しながら、地域の実情に応じた教育の振興に関する基本的な計画を定めるよう求められている。

本市では、平成 19 年 4 月に「第 1 次教育振興基本計画」を策定し、計画的に、学校教育、社会教育、教育行政等を推進してきた。

社会環境は、近年のグローバル化や少子高齢化など社会の急激な変化、雇用環境の変容、社会のつながりの希薄化、格差の再生産・固定化等、変化し続けている。

安倍内閣においては、「教育再生」が最重要課題の一つとして位置づけられ、教育再生を実現させるため、教育再生実行会議が開催され、これまで 8 次にわたる提言がなされた。

教育委員会制度についても、約 60 年ぶりに抜本的な改正が行われ、教育委員長と教育長の一本化や、首長と教育委員会が教育行政について議論することを目的とした「総合教育会議」の設置、教育の目標や施策の根本的な方針である「教育大綱」の策定が首長に義務付けられた。

こうした状況を踏まえ、本市では、平成 27 年 6 月に「伊丹市総合計画（第 5 次）」の教育に関する基本方針や政策目標を基本とした「伊丹市教育大綱」が策定された。そこで、「伊丹市教育大綱」の策定に合わせ、「第 1 次教育振興基本計画」の 9 年目の検証・見直しを行うとともに、「伊丹市教育大綱」を実現させるための施策に関する基本的な計画として「伊丹市第 2 次教育振興基本計画（H28～H32）」を策定した。その具体的な事業内容については、「伊丹市総合計画・後期事業実施 5 力年計画」をこれに充てる。

教育基本法（平成 18 年 12 月 22 日法律第百二十号）

（教育振興基本計画）

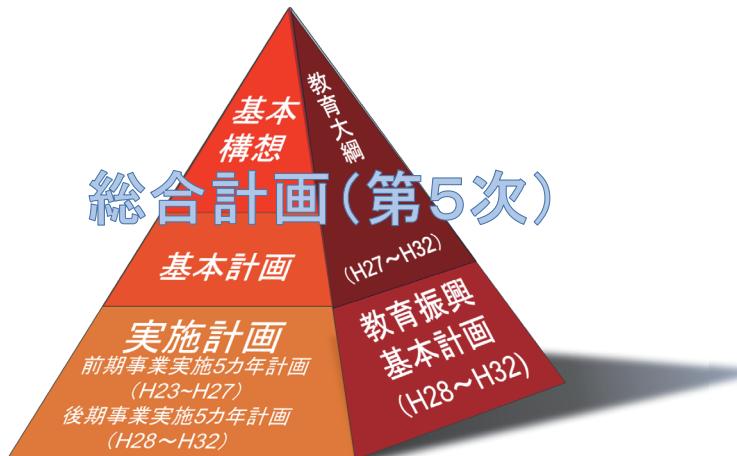
第 17 条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講すべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参照し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

2 計画の位置づけ

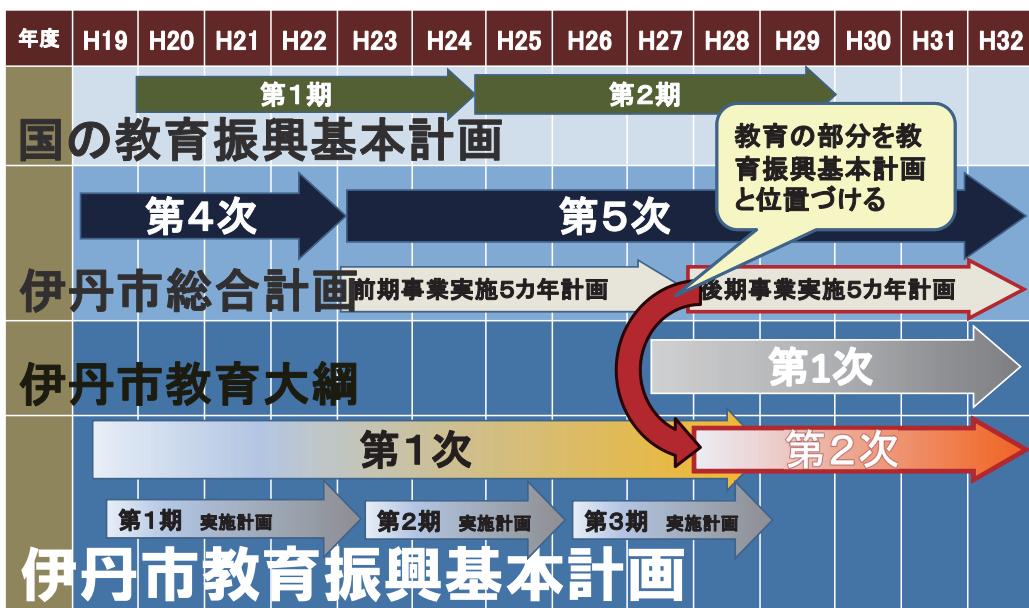
本計画は、教育基本法第17条第2項に定める「教育振興基本計画」に位置づけ、本市の実状に応じた教育の振興のための施策に関する基本的な計画とする。

「伊丹市総合計画 後期事業実施5カ年計画」の教育に関する部分を「伊丹市第2次教育振興基本計画」とする。



3 計画期間

計画期間は、平成28年度から平成32年度までの5カ年間とする。



4 対象範囲

本計画の対象は、本市教育委員会が所管する人権教育や学校教育、社会教育、家庭教育、スポーツ振興、文化財の保護に関する施策や事業とする。

II 教育をめぐる現状と課題

1 教育を取り巻く環境の変化

「10年ひと昔」というが、今の時代の変化はどうか。2年もすれば、人が変わり、仕組みが変わり、世の中が変わっている。まさに「2年ひと昔」という感がある。

急激な少子高齢化、情報化、グローバル化の進展の中で、オックスフォード大学教授の「今ある職業の50%が今後20年以内で消えてしまう（2014年）」というレポートに社会は衝撃を受けた。

これまで、本市教育においては、子どもたちの学力や体力の向上、豊かな心の醸成等に着実に成果を上げてきた。

しかし、将来の変化を予測することが困難な、これからグローバル社会の中で生き抜く人材には、さらに「チャレンジ精神」や「創造性」が求められる。さらに、さまざまな価値観や背景を持つ人々が、相互を尊重しながら、人間関係やチームワークを形成し、正解のない課題や経験のない問題について、深く考え、合意形成を図りながら課題を解決する力を培うことが必要である。つまりこれからは「自分の力で考え発信し行動する人材」が求められている。

このような資質を育てるために、教育の果たす役割は極めて大きく、社会の教育に対する期待はますます高くなっている。

また、教育は、学校教育だけで完結するものではない。教育を生涯学習という観点から捉え、家庭教育、学校教育、社会教育が互いに連携し、その役割を果たすことが重要である。そして、若者、高齢者を問わず、個人の発達段階やその時に置かれている状況を踏まえつつ、生涯を通じて学び続けることが不可欠である。

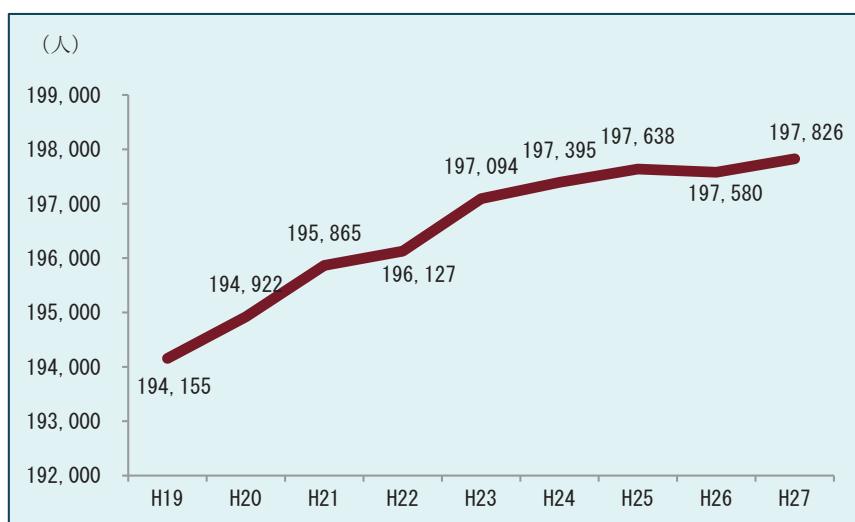
「地方創生」の観点からも、学校を核として、学校と地域が協働・連携した取組や地域視点を活かした教育活動を進めることが必要である。まさに、「伊丹創生」は市民一人ひとりが教育を「他人事」ではなく、「伊丹の未来のための自分事、みんな事」として捉えることから始まる。そのようなことから、全ての小中学校に学校と地域が協働・連携する体制を構築するとともに、地域を担う人材の育成につながる教育を推進する。

2 伊丹市の現状

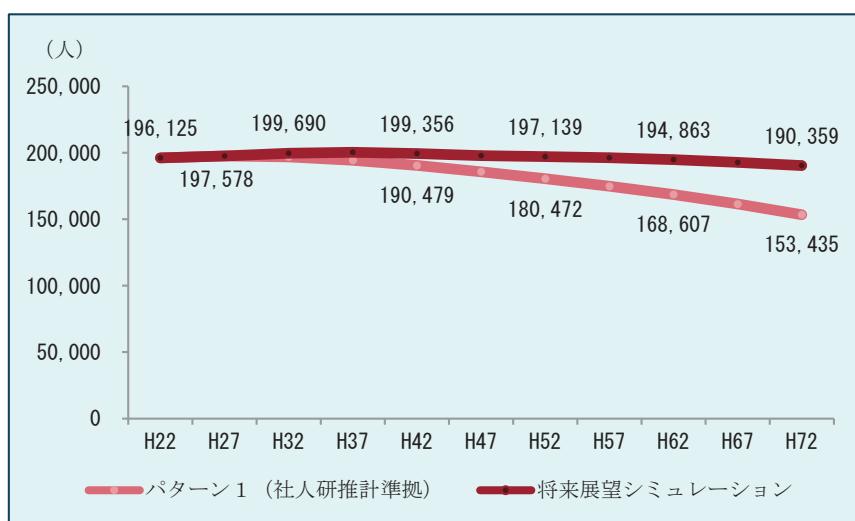
(1) 人口の推移

伊丹市の人口は、平成 19 年から平成 27 年にかけて約 1.9% 増加しており、平成 27 年現在、約 19 万 8 千人となっている。ここしばらくは微増傾向が続くが、平成 72 年には、約 15 万人になるとの予測もある。

伊丹市統計情報による人口推移



伊丹市の人口の将来予想



(2) 学校

① 市立幼稚園

市立幼稚園の就園者数は、1,200人前後、就園率30%程度で推移してきた。

しかし、ここ数年、基礎児童数の減少や保育所ニーズの高まりから、園児数は減少傾向にある。

平成25年度には、子ども・子育てのニーズに対応するために、神津幼稚園と神津保育所を一体化した、神津こども園を設置した。

市立幼稚園の園児数



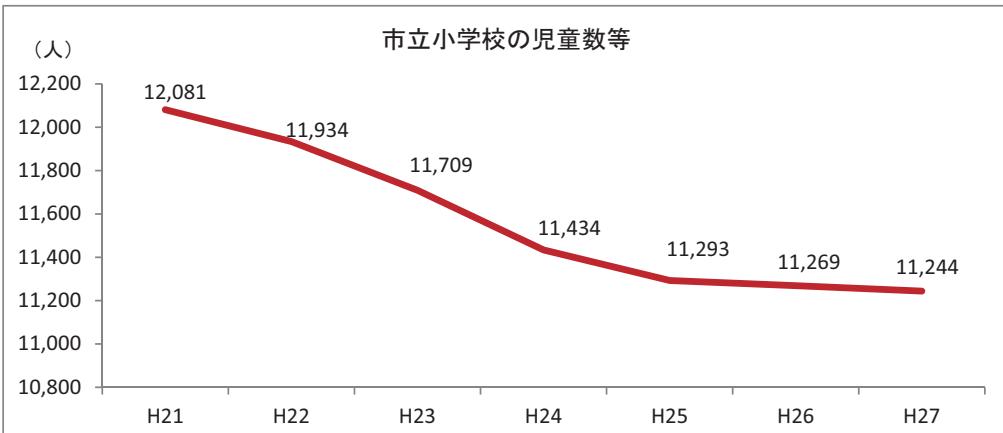
② 市立小・中学校

市立小学校17校の児童数は、近年微減傾向にあったが、最近は、ほぼ横ばいの状況である。また、市立中学校8校の生徒数は、微増傾向にあったが、平成25年度からは、微減傾向にある。

市立小学校の児童数等

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
児童数計	12,081	11,934	11,709	11,434	11,293	11,269	11,244
児童数	11,863	11,707	11,470	11,184	11,025	10,976	10,928
(特別支援学級)	218	227	239	250	268	293	316
対前年増減数	△ 107	△ 147	△ 225	△ 275	△ 141	△ 24	△ 25
学級数計	427	423	417	409	408	412	416
学級数	374	367	359	353	350	350	347
(特別支援学級)	53	56	58	56	58	62	69
対前年増減数	△ 5	△ 4	△ 6	△ 8	△ 1	4	4

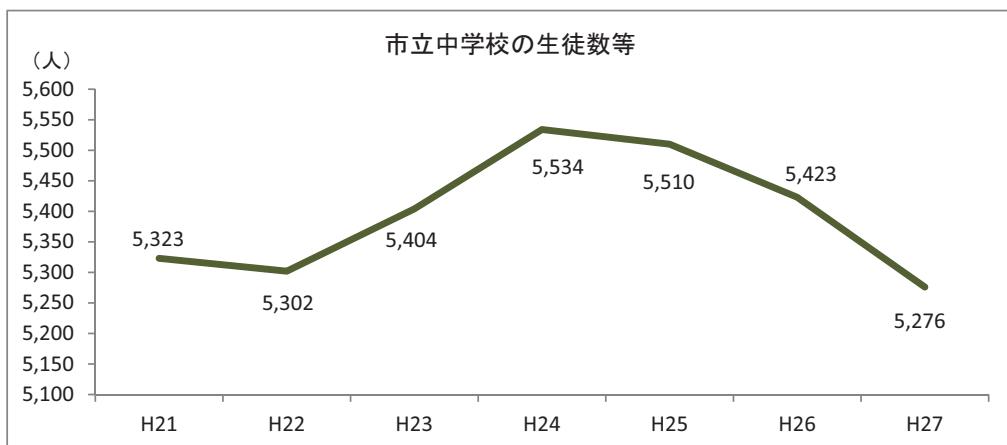
市立小学校の児童数等



市立中学校の生徒数等

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
生徒数計	5,323	5,302	5,404	5,534	5,510	5,423	5,276
生徒数	5,260	5,243	5,338	5,463	5,441	5,348	5,197
(特別支援学級)	63	59	66	71	69	75	79
対前年増減数	94	△ 21	102	130	△ 24	△ 87	△ 147
学級数計	162	162	167	170	171	168	164
学級数	141	143	144	147	147	145	142
(特別支援学級)	21	19	23	23	24	23	22
対前年増減数	4	0	5	3	1	△ 3	△ 4

市立中学校の生徒数等



③ 市立高等学校

平成 21 年度までは、1 学年 6 学級編制であったが、平成 22 年度から順次 1 学年 7 学級編制とした。

市立高等学校(定時制)は、平成 26 年度末で県立阪神昆陽高等学校に統合し、閉校した。

市立伊丹高等学校の生徒数等

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
学級数	18	19	20	21	21	21	21
生徒数	685	751	789	826	831	831	833
前年度増減数	23	66	38	37	5	0	2

④ 市立特別支援学校・特別支援学級

児童生徒数及び学級数は、微増傾向にあったが、平成 27 年度はやや減少した。市立小・中学校の特別支援学級の児童生徒数は、増加傾向にあり、特に小学校は、著しく増加している。

障がいの種別では、知的障害、自閉・情緒障害等児童生徒数が増加している。

伊丹特別支援学校児童生徒数等

区分		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
学級数	小学部	3	3	3	4	5	4	4
	中学部	3	3	3	2	2	4	3
	高等部	3	3	3	4	5	5	4
	合計	9	9	9	10	12	13	11
		(人)						
児童生徒数	小学部	6	6	7	10	12	9	9
	中学部	7	6	5	3	3	9	7
	高等部	7	8	8	7	8	8	7
	合計	20	20	20	20	23	26	23
		(人)						

特別支援学級児童数等（小学校）

区分	H21	H22	H22	H24	H25	H26	H27
学級数	52	56	58	56	58	62	69
	(人)						
知的	101	104	116	126	130	139	144
肢体	20	24	21	18	23	23	30
病弱	0	1	0	0	0	0	1
弱視	1	2	2	1	1	0	0
難聴	8	6	7	2	3	4	4
言語	0	0	0	0	0	0	0
自閉症・情緒	85	90	93	103	111	126	137
合計	215	227	239	250	268	292	316

特別支援学級生徒数等（中学校）

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
学級数	21	19	23	23	24	23	22
	(人)						
知的	39	33	36	33	35	37	52
肢体	5	4	8	8	9	5	4
病弱	0	0	0	0	0	0	1
弱視	0	0	0	1	1	1	0
難聴	4	6	6	7	4	4	0
言語	0	0	0	0	0	0	0
自閉症・情緒	15	16	16	22	20	28	22
合計	63	59	66	71	69	75	79

(3) 教科に関する調査

平成 27 年度全国学力・学習状況調査における平均正答率は、小学 6 年生は、ほぼ全国平均、中学 3 年生は、全国平均をやや上回っている。

経年変化においては、小学 6 年生は横ばいだが中学 3 年生は上昇傾向にある。

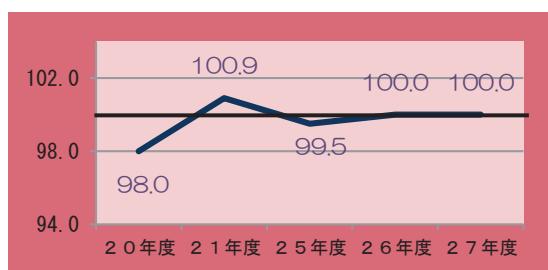
全国学力・学習状況調査における平均正答率

区分		H20	H21	H25	H26	H27	(%)
小学校	国語 A	伊丹	64.1	71.9	61.9	75.4	70.6
		全国	65.4	69.9	62.7	72.9	70.0
		全国差	△1.3	2.0	△0.8	2.5	0.6
	国語 B	伊丹	49.0	49.8	48.7	54.1	63.9
		全国	50.5	50.5	49.4	55.5	65.4
		全国差	△1.5	△0.7	△0.7	△1.4	△1.5
	算数 A	伊丹	71.3	79.4	77.4	78.1	75.1
		全国	72.2	78.7	77.2	78.1	75.2
		全国差	△0.9	0.7	0.2	0.0	△0.1
	算数 B	伊丹	51.1	55.1	58.4	57.0	45.9
		全国	52.2	54.8	58.4	58.2	45.0
		全国差	△1.1	0.3	0.0	△1.2	0.9
中学校	国語 A	伊丹	71.3	76.9	77.2	79.4	76.9
		全国	73.6	77.0	76.4	79.4	75.8
		全国差	△2.3	△0.1	0.8	0.0	1.1
	国語 B	伊丹	58.4	74.8	67.9	49.8	66.8
		全国	60.8	74.5	67.4	51.0	65.8
		全国差	△2.4	0.3	0.5	△1.2	1.0
	数学 A	伊丹	59.6	61.9	64.7	67.9	67.2
		全国	63.1	62.7	63.7	67.4	64.4
		全国差	△3.5	△0.8	1.0	0.5	2.8
	数学 B	伊丹	46.8	57.4	43.7	60.7	42.3
		全国	49.2	56.9	41.5	59.8	41.6
		全国差	△2.4	0.5	2.2	0.9	0.7

全国の平均正答率を 100 とした場合の伊丹市の平均正答率の数値

(国語と算数・数学の合計)

[小学校]



[中学校]

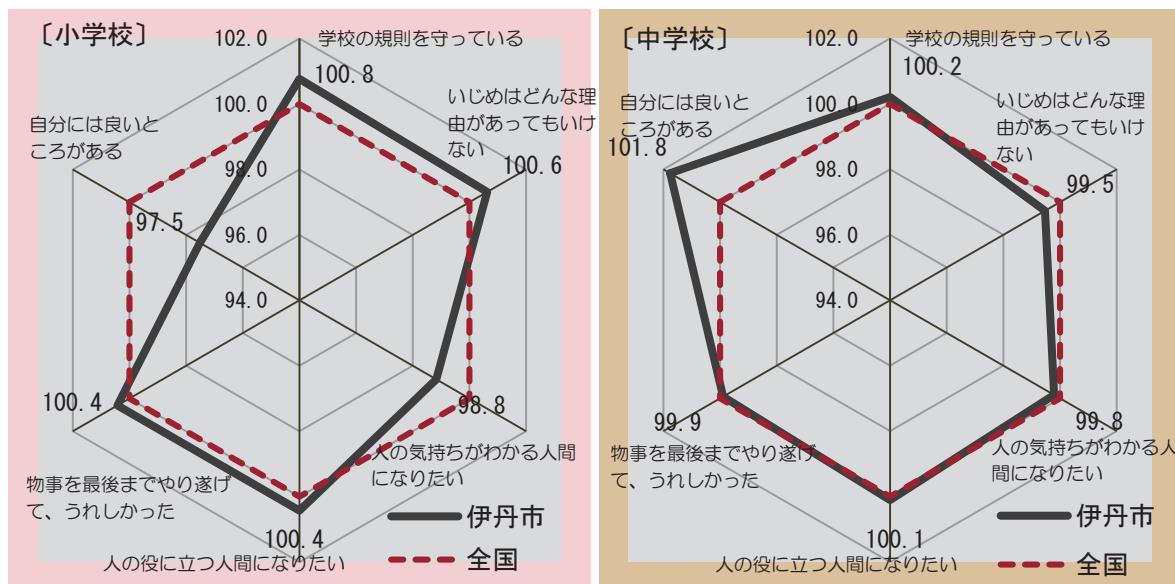


(4) 道徳性に関する調査

平成 27 年度全国学力・学習状況調査における自尊感情は、小学 6 年生は、全国平均をやや下回り、中学 3 年生は、やや上回っている。

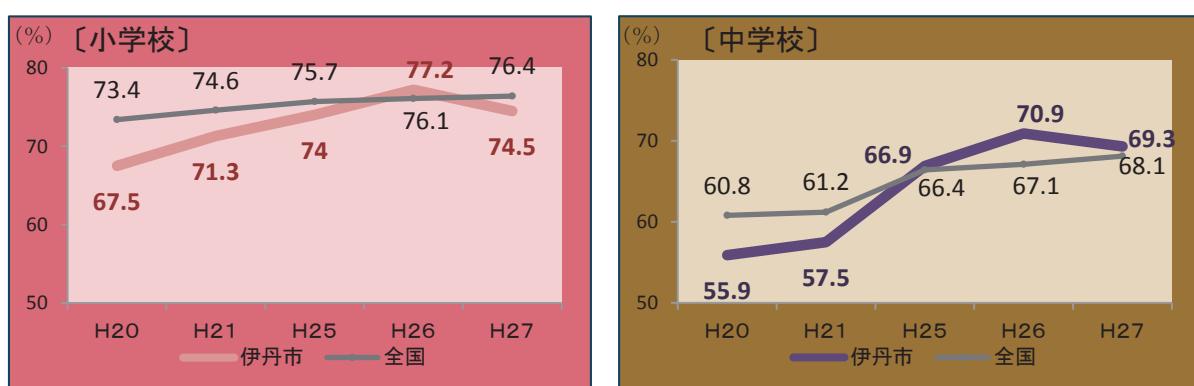
自尊感情は、経年的には、小中学校とも上昇傾向にある。

平成 27 年度全国学力・学習状況調査における道徳性に関する調査結果



平成 27 年度全国学力・学習状況調査における自尊感情に関する調査結果

(質問項目「自分にはよいところがあると思いますか」に、「当てはまる」「どちらかといえど当てはまる」と回答した児童生徒の割合)



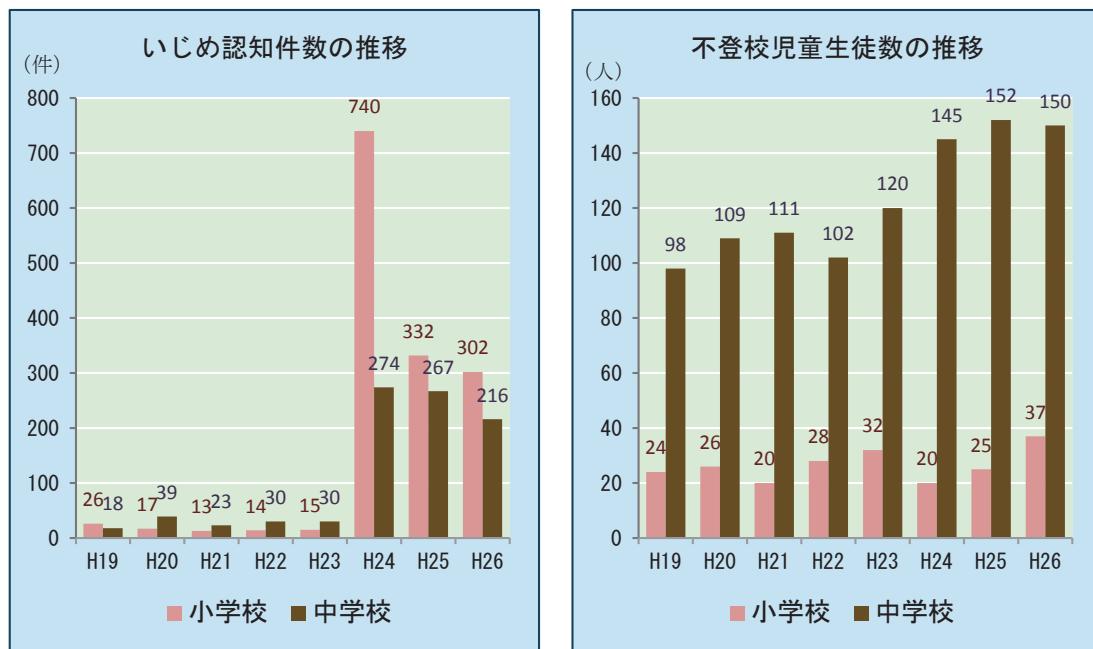
(5) いじめ・不登校・問題行動

市立小中学校におけるいじめ認知件数は、全国的にいじめ問題が課題となった平成24年度に大幅に増加したものの、その後は減少傾向にある。

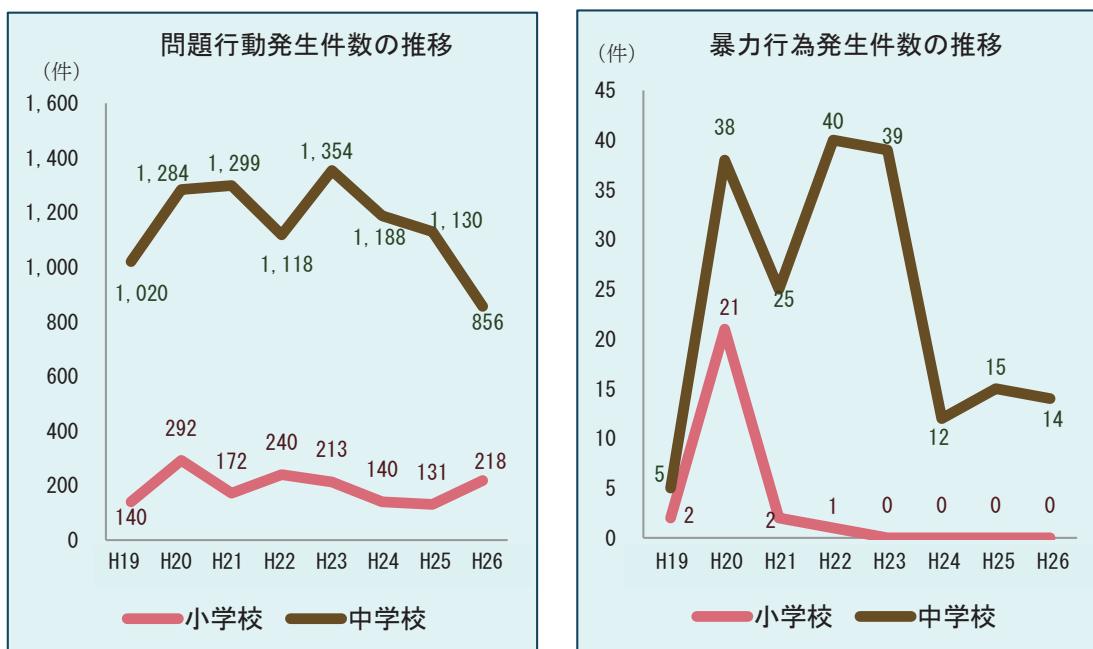
不登校者数については、小学校は横ばいで、中学校においては、増加傾向にある。

問題行動の件数については、小学校は横ばい、中学校は減少傾向にある。暴力行為については、小中学校とも、近年大きく減少している。

いじめ認知件数・不登校児童生徒数



問題行動発生件数

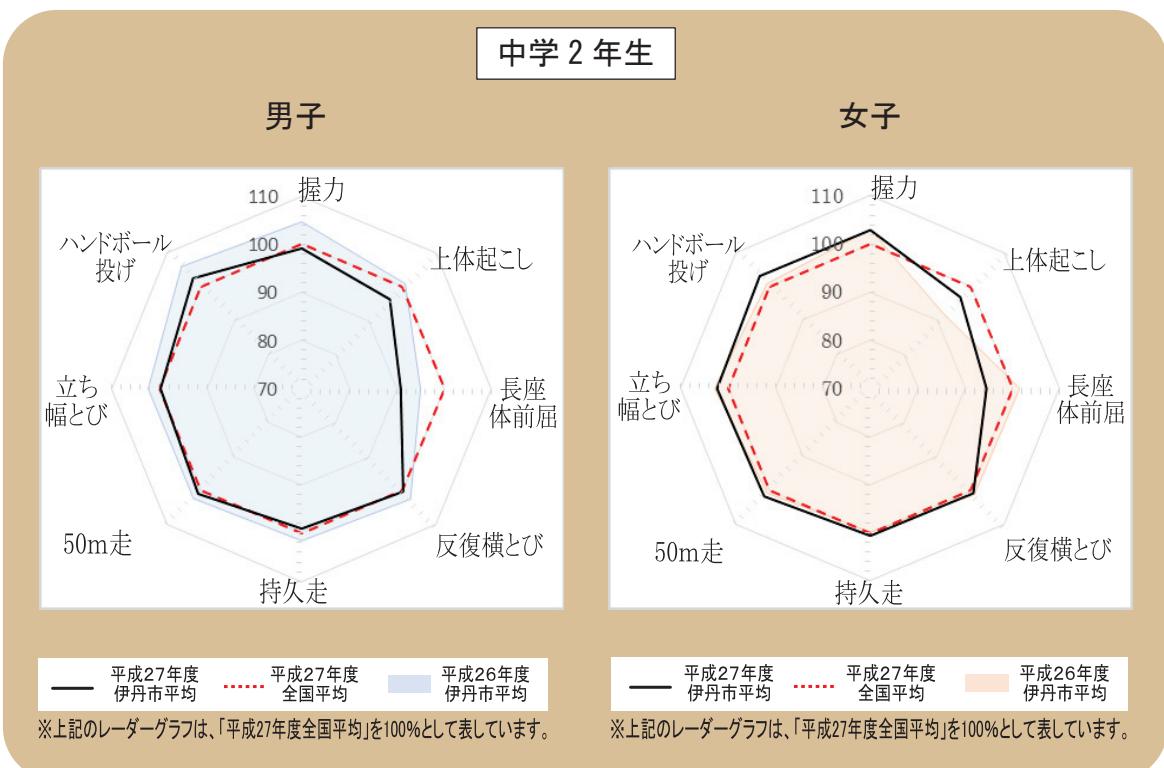
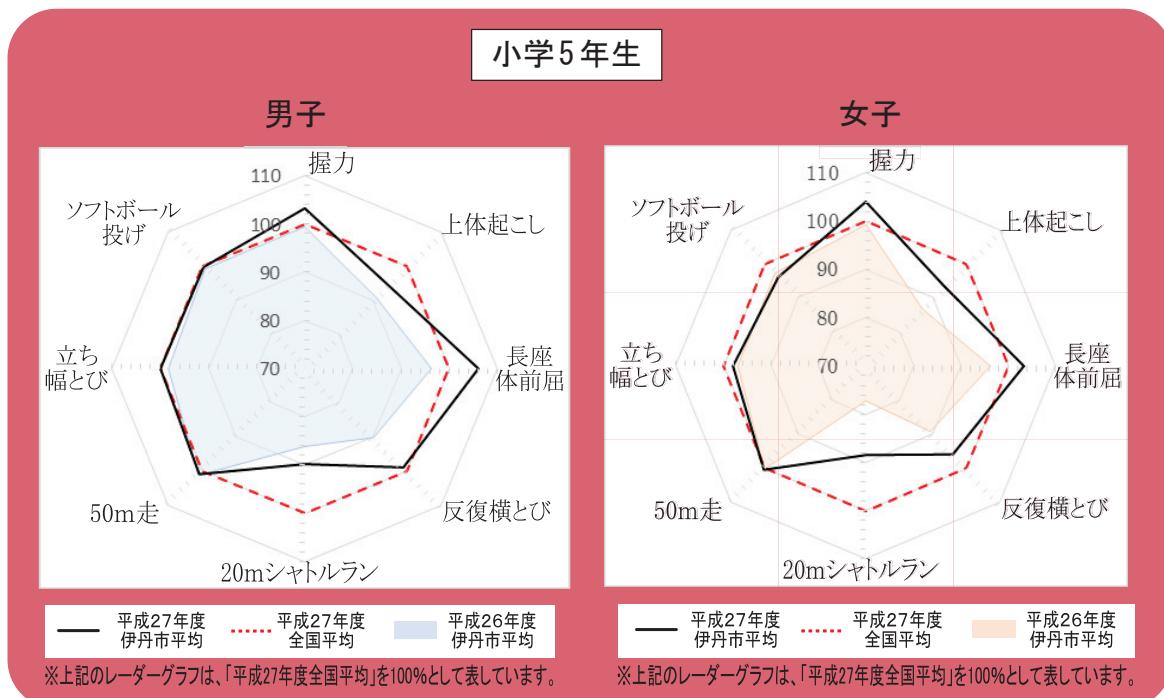


(6) 体力に関する調査

小学5年生男子は、上体起こし（筋力）、20mシャトルラン（持久力）に、女子は、上体起こし（腹筋）、反復横跳び（敏捷性）、20mシャトルラン（持久力）に課題が見られる。

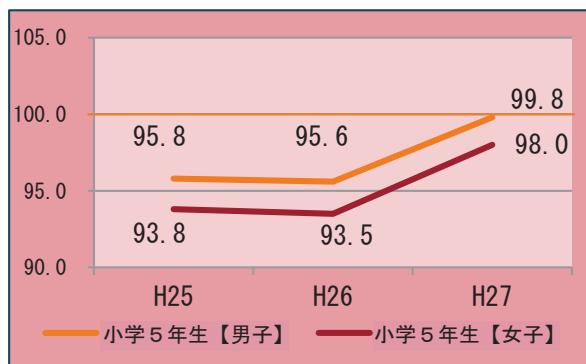
中学2年生は、男女とも、上体起こし（筋力）及び長座体前屈（柔軟性）に課題が見られる。

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果による全国・県との比較

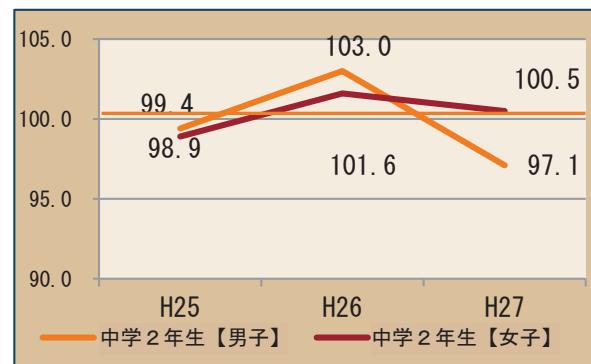


全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、
体力合計点の全国平均を 100 とした場合の伊丹市の指標の推移

〔小学校〕



〔中学校〕



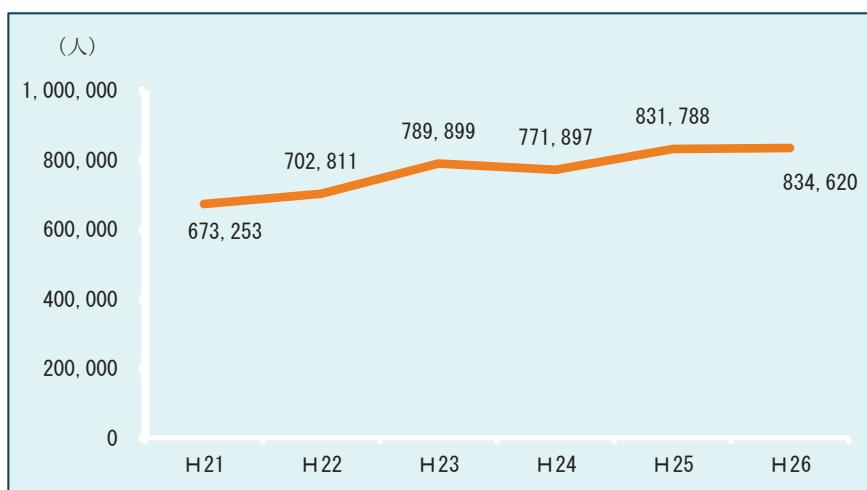
反復横跳びの様子

(7) 社会教育関連施設

① 図書館

利用者数（本館、南・北分館、西・神津分室）は、増加傾向にある。平成24年7月には、本館「ことば蔵」が中心市街地に移転開館し、平成26年度には834,000人を超えるなど、過去最高を記録した。

図書館の利用者数等



② 公民館

利用者数は、100,000人程度で推移している。

公民館の利用者数等



③ 博物館

60,000人前後で推移したが、減少傾向にある。（平成25年度は、「ことば蔵1周年記念展」の開催による）



④ ラスタホール

利用者数は、190,000人程度で推移してきたが、平成26年度に学習室を新設し、増加した。



⑤ きららホール

利用者数は、143,000人前後で推移している。

きららホールの利用者数等



親子の読書（市立図書館本館「ことば蔵」）

(8) スポーツ関連施設

ローラースケート場、稲野公園、スポーツセンターの利用者数は、全体を通しては増加傾向にある。緑ヶ丘プールの利用者数は、天候に左右されるが、ほぼ横ばいである。

猪名川第1、第2、第3A、第3B、第4が、平成25年度、平成26年度に大きく減少しているのは、台風被害により、施設が長期にわたり利用できなかつたためである。

緑ヶ丘体育館は、第1体育館の利用者は、大きく増加しているが、第2体育館、第3体育館については、少し減少傾向にある。

スポーツ関連施設等の利用人数等

(人)

施設名		項目	H21	H22	H23	H24	H25	H26	合計
ローラースケート場	大人	8,033	7,666	8,216	8,927	9,446	12,270	545,558	
	小人	11,871	11,323	10,856	13,142	14,383	16,288	77,863	
	小計	19,904	18,989	19,072	22,069	23,829	28,558	132,421	
稲野公園	変形自転車	利用人数	29,815	25,784	24,992	30,323	35,632	41,507	188,053
	運動広場	利用人数	18,286	16,997	17,783	19,136	19,110	18,436	109,748
	卓球場	利用人数	8,968	7,268	7,274	7,102	7,438	7,658	45,708
	ゲートボール	利用人数	4,305	4,300	4,024	3,818	3,971	3,390	23,808
	小計	61,374	54,349	54,073	60,379	66,151	70,991	367,317	
緑ヶ丘プール	大人	14,823	17,326	16,037	16,673	16,581	13,657	95,097	
	小人	19,406	20,743	18,123	18,440	19,069	15,921	111,702	
	小計	34,229	38,069	34,160	35,113	35,650	29,578	206,799	
スポーツセンター	体育館全施設	利用人数	118,954	121,673	128,350	141,853	146,314	147,692	804,836
	室内プール	利用人数	56,826	64,390	65,349	66,922	66,684	68,910	389,081
	野球場	利用人数	38,186	40,856	37,754	39,127	33,843	34,807	224,573
	陸上競技場	利用人数	68,820	63,061	64,577	60,759	56,822	53,353	367,392
	テニスコート	利用人数	60,599	58,845	58,747	65,262	62,832	67,041	373,326
	小計	343,385	348,825	354,777	373,923	366,495	371,803	2,159,208	
野球場等	市民球場	利用人数	52,310	52,935	41,190	42,815	45,110	52,945	287,305
	猪名川第1	利用人数	23,480	22,370	18,795	19,195	8,975	4,710	97,525
	猪名川第2	利用人数	53,180	28,680	23,030	24,755	10,095	5,450	145,190
	猪名川第3A	利用人数	26,800	28,500	27,215	28,850	15,590	2,730	129,685
	猪名川第3B	利用人数	37,375	42,510	40,055	39,190	19,475	6,320	184,925
	猪名川第4	利用人数	41,450	39,775	36,340	39,040	21,735	6,980	185,320
	古池運動広場	利用人数	42,800	15,120	27,950	29,630	31,215	38,905	185,620
	小計	277,395	229,890	214,575	223,475	152,195	118,040	1,215,570	
緑ヶ丘体育館	第1体育館	専用人員	47,797	47,227	47,350	47,452	50,686	63,838	304,350
		個人	1,358	1,757	1,714	1,380	1,615	1,971	9,795
	第2体育館	専用人員	14,537	14,795	14,477	15,796	14,988	13,656	88,249
		個人	2,680	3,249	2,407	1,717	1,347	1,758	13,158
	第3体育館	専用人員	8,225	8,335	8,663	9,423	10,189	8,750	53,585
		個人	571	265	200	124	720	1,221	3,101
	小計	75,168	75,628	74,811	75,892	79,545	91,194	472,238	
	合計	811,455	765,750	751,378	790,851	723,865	710,164	4,553,553	



III 基本的方向性

伊丹市の将来像

「みんなの夢、まちの魅力 ともにつくる 伊丹」

基本目標 市民が主体となったまちづくりの実現

*基本方針 2. 多様性を認め合う共生社会

人権尊重のまちづくりを推進するために、人権教育に関する広報、その他の啓発活動を積極的に行う。また、人権教育を生涯学習に位置づけ、学校・家庭・地域等のあらゆる場で推進する。

「伊丹市人権教育・啓発に関する基本指針」や「伊丹市人権教育基本方針」に基づき、さまざまな人権問題に関する学習機会の充実を図る。

多文化共生のまちづくりを推進するために、学校教育においては、教育活動全体を通して、多文化共生・国際理解教育を推進する。

日本語理解が不十分な外国人児童生徒に対し、適応指導員や多文化共生サポートの派遣を行うなど、指導体制の充実を図る。

II 施策1 人権尊重のまちづくり

- ① 「伊丹市人権教育・啓発推進に関する基本方針」に沿った取組
 - ・「伊丹市人権教育・啓発推進に関する基本方針」(平成22年度策定)に基づく取組
 - ・「伊丹市人権教育基本方針」(平成22年度改訂)に基づく取組
- ② すべての人の人権が尊重される「多様性を認め合う共生社会」の実現に向けた取組
 - ・性的マイノリティに関する理解等、新たな人権課題への対応
 - ・ライフステージに応じた多様な学習活動の推進

主な取組

伊丹市人権・同和教育研究協議会
人権啓発推進委員会
地域改善対策奨学金返還助成事業
差別を許さない都市宣言制定記念市民集会
人権作文・ポスター募集事務

いたみヒューマンライツゼミ
人権教育指導員派遣事業
視聴覚教材貸出事務
人権啓発標語募集事務

II 施策4 多文化共生のまちづくりと国際交流

- ① 学校における「真の国際人」の育成
 - ・総合的な学習の時間等を活用した計画的な国際理解教育の推進
 - ・国際友好都市中国佛山市との交流
- ② 日本語理解が不十分な帰国園児児童生徒や外国人園児児童生徒への指導体制の充実

主な取組

伊丹朝鮮初級学校就学補助事業
在日外国人学校就学補助事業
佛山市学生代表団受入及び中学生派遣事業

伊丹朝鮮初級学校助成事業
外国人児童生徒等受入事業
伊丹朝鮮初級学校幼稚園部奨励費補助事業



佛山市の中学生との交流



小学校外国語活動

政策目標 1. 支え合いの心でつくる安全・安心のまち

施策目標 1. 安全・安心のまちづくり

*主要施策 3. 交通安全と地域防犯の推進

交通安全対策の推進については、関係部局との連携のもと、「安全・安心見守りネットワーク事業」の活用等による通学路の安全対策を充実するとともに、「自転車交通安全教室」の充実等による児童生徒の交通安全意識の高揚と交通マナーの向上に努める。

施策 1 交通安全対策の推進

- ① 通学路等への「安全・安心見守りカメラ」の設置
 - ・子どもや保護者・地域も安心できる安全な教育環境の創出
- ② 多発する自転車事故等への対応
 - ・市の都市安全企画課や伊丹警察署との連携の強化
 - ・「自転車交通安全教室」等の内容の充実

主な取組

自転車交通安全教室事業



自転車交通安全教室

政策目標2. 未来を担う人が育つまち

施策目標1. 子ども・若者・家庭・地域がともに育ち合う環境づくり

*主要施策 1. 子どもの育ち・若者の自立を支援する環境づくり

保育・幼児教育の充実については、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性を踏まえ、幼児教育の質の向上を図るとともに、公私立幼稚園・保育所（園）、認定こども園と小学校との円滑な接続を図る。

今後の幼児教育のあり方については、広く市民の意見を聞く中で、「基本方針・実施計画」の策定を行い、計画に基づく取組を進める。

発達に支援を要する子どもの育ちの支援については、教育の機会均等の趣旨等を踏まえ、保護者の経済的負担を軽減するとともに、障がいのある子どもたちが十分な教育を受けることができる環境の構築と特別支援教育の充実を図る。

子どもの育ちの支援については、学校園のみならず、社会全体で支える必要があり、関係機関等と連携し、取組の充実を図る。

若者の自立支援については、困難を有する青少年や保護者等に対する相談体制を充実する。

II 施策1 保育・幼児教育の充実

① より質の高い保育、教育の提供

- ・絵本の読み聞かせを通した豊かな感性の育成や外遊びを通した体力の向上
- ・教諭等の資質向上や園の環境整備等の支援
- ・障がい児への支援の充実
- ・「保幼小接続期モデルカリキュラム」に基づく、公私立の幼稚園、こども園、保育所と小学校との円滑な接続の推進

② 学校教育審議会答申を踏まえた「基本方針」及び「実施計画」の策定及び実施

- ・市民からの丁寧な意見聴取と市民理解を図る取組の実施

③ 私立幼稚園に対する補助制度を通じて、私立幼稚園における幼児教育の充実

主な取組

幼稚園研究推進事業
市立幼稚園管理運営事業
幼稚園施設の管理工事事業
幼稚園施設の定期点検等事業

私立幼稚園等教育振興補助事業
幼稚園施設の修繕事業
幼稚園施設の大規模改造等事業
今後の幼児教育のあり方検討事業

II 施策 2 発達に支援を要する子どもの支援

- ① 私立幼稚園における特別支援教育の振興
 - ・心身に障がいのある幼児を受け入れている市内の私立幼稚園の設置者に対する助成
- ② 保護者の経済的負担の軽減による特別支援教育の充実
 - ・特別支援学級在籍児童生徒等への就学にかかる費用の助成

主な取組

私立幼稚園特別支援教育振興助成事業

特別支援教育就学支援奨励事業

II 施策 3 子どもの育ちの支援

- ① 子どもが遊び・学び、交流や体験を通して、主体性や創造性を育む。
 - ・「放課後子ども教室」の実施
 - ・工作や園芸などの多様な体験教室の開催
 - ・「伊丹子ども市展」の開催

主な取組

放課後子ども教室

子ども育成事業

II 施策 4 若者の自立支援

- ① 子どもに関する問題等の相談を受ける体制の整備
 - ・「子どもと保護者のなやみの相談」をはじめとした相談活動の充実

主な取組

青少年問題相談事業

★主要施策 2. 家庭の子育て力を高める環境づくり

家庭教育の推進については、家庭の教育力を向上させるため、学習機会の提供や、各種啓発パンフレットの発行を行う。

子育て支援の充実については、子育て中の親子に対して、親子交流や子育てに関する相談、子育て情報の提供やその他子育て支援のための事業等を実施する。

子育て家庭への経済的負担の軽減については、「子どもの貧困」が社会問題化する中、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、就学援助等必要な施策を講じるとともに、高校、大学への進学においても、国や県の動向を見据える中で、より効果的な修学支援を行う。

II 施策1 家庭教育の推進

- ① 子どもが安心して健やかに成長できる家庭や地域の環境づくりの推進
 - ・家庭教育等に必要な知識等の普及啓発の取組の充実
- ② 保護者が気軽に育児に関する相談をしたり、子育てに関して学べたりできる体制の整備
 - ・地域やボランティア、社会教育施設等を含む関係機関との連携

主な取組

家庭教育アドバイザー事業
家庭教育出前講座講師派遣事業
家庭教育連携支援委員会の開催
早寝早起き朝ごはん事業

草の根家庭教育推進事業
家庭教育ボランティア研修会
だんらんホリデー事業
家庭・子ども支援地域ネットワーク事業

II 施策2 子育て支援の充実

- ① 子育て中の保護者の孤立感や、親子でともに過ごす時間が充分に持てない状況への支援
 - ・幼稚園など既存の施設や人材の活用による、未就園児と幼児との交流活動等の実施
 - ・子育てに不安を抱える保護者の相談等への対応
 - ・本を介した親子で触れ合う機会の提供
- ② 子ども読書活動事業の推進
 - ・4ヶ月健診時に、絵本を配布するブックスタート事業の実施
 - ・各種子ども向け行事や、保育所(園)・幼稚園・認定こども園・学校などへの図書・資料の団体貸出などの実施

主な取組

子育て支援推進事業

子ども読書活動推進事業

II 施策5 子育て家庭への経済的負担の軽減

① 保護者の経済的負担の軽減による適正な就学（修学）の支援

- ・幼稚園保護者の多子世帯における経済的負担の軽減を図る
- ・経済的理由により就学困難な児童生徒の就学奨励の実施
- ・大学等においては、経済的理由により修学困難な世帯に対する修学支援の実施

主な取組

ひょうご多子世帯保育料軽減事業
私立幼稚園就園奨励費補助事業
特別支援教育就学奨励事業
大学等就学金貸付事業
大学等奨学金貸付事業
実費徴収に係る補足給付事業（幼稚園）

通学通園費助成事業
中学校夜間学級就学支援事業
就学援助事業
私立大学等入学支度金支給事業
大学等入学支度金支給事業



未就園と幼児の交流活動

*主要施策 3. 子育ち・子育てを地域で支える環境づくり

地域ぐるみの子育て支援については、青少年が非行に陥ったり、犯罪被害に遭ったりしないよう、“地域の子どもは地域で育てる”という観点に立って、少年補導委員やPTA、地域、関係団体等が一体となった青少年の健全育成・非行防止の取組を進める。

II 施策1 地域ぐるみの子育て支援

- ① 家庭・地域・学校園・関係機関等の協働による青少年の健全育成・非行防止
- ・子どもとの信頼関係を基盤とした補導活動の充実
 - ・地域での見守り・声かけの活性化

主な取組

青少年街頭補導事業

青少年健全育成・環境浄化事業

青少年健全育成関係広報啓発事業

施策目標 2. 子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育

*主要施策 1. 確かな学力の向上

自ら学び自ら考える力を育む教育の推進については、管理職のリーダーシップと同僚性の構築のもと、「全国学力・学習状況調査」等の分析による自校の課題に基づく学力向上プランを着実に実行するとともに、個別指導や家庭学習の充実等により学力格差の解消に取り組む。

また、次期学習指導要領を見据え、グループ学習やICTの活用等による協働型・双方向型の授業（アクティブ・ラーニング）の積極的な導入を進め、児童生徒の思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ姿勢を育てるための授業改善を推進する。

新たな社会への対応力を育む教育の推進については、ICT環境の整備とその活用、グローバル化に対応した英語教育の充実等の取組を計画的に進めていく。

伊丹ならではの特色ある教育の推進については、子どもたちのコミュニケーション力の育成と思考力・判断力・表現力の育成を目指し、「ことば科」の改善等の研究を進めるとともに、子どもの読書活動を推進する。

魅力ある市立高等学校づくりについては、生徒の希望する進路への適切な支援や、市長部局との連携による商店街の活性化への取組等により、地域に開かれた魅力ある高等学校を目指す。

特別支援教育の推進については、「障害者差別解消法」の施行にともない、合理的配慮の提供の周知と、多様な子どものニーズに応じることのできる「教育のユニバーサルデザイン化」を推進する。

伊丹特別支援学校については、地域におけるセンター的機能を十分發揮し、本市の特別支援教育の中核的役割を担う特別支援学校を目指す。

II 施策 1 ◆ 自ら学び自ら考える力を育む教育の推進

① 全国及び市における学力・学習状況調査等の活用

- ・全国学力・学習状況調査、伊丹市学習到達度調査の分析に基づく「学力向上プラン」の着実な実行

- ・Q-U の実施と活用

② 管理職のリーダーシップと同僚性の構築

③ 授業改善

- ・グループ学習やICTの活用等による協働型・双方向型授業（アクティブ・ラーニング）の導入

- ・PDCAサイクルに基づく、校内研究の改善

- ④ 学習規律の徹底
- ⑤ 学力格差の解消
 - ・学力向上支援教員等によるきめ細かな指導
 - ・放課後学習の推進
- ⑥ 土曜日の教育活動の推進
 - ・学校・家庭・地域の連携による土曜学習の充実
- ⑦ 家庭学習の充実
 - ・計画的な宿題
 - ・予習・復習の充実
 - ・家庭学習プリント配信システムの活用の促進
- ⑧ 幼小中連携と異学年交流の重視
- ⑨ 「知識基盤社会」の時代における理数教育の充実

主な取組

子どもサポーター派遣事業	小中学校自由研究推進事業
伊丹市家庭学習の手引き活用事業	学習到達度調査事業
理科教育設備等の整備	放課後学習推進事業
土曜学習事業	学力向上支援教員配置事業
教科用図書選定委員会	

II 施策2 新たな社会への対応力を育む教育の推進

- ① 情報化への対応
 - ・情報端末やデジタルコンテンツ等の計画的な導入
 - ・教職員のICT活用指導力向上のための研修の充実
- ② グローバル化への対応
 - ・小学校5・6年生の英語の教科化、中学校の英語による授業等、国の動向を視野に入れた、小中連携による系統的な英語教育の推進
 - ・外国人英語指導助手（ALT）の活用
 - ・教員研修の計画的実施
 - ・外部検定試験の活用の促進
- ③ 情報教育設備の整備
 - ・ICTを活用したわかる授業づくりの実現
 - ・児童生徒の情報活用能力の育成
 - ・実物投影機や大画面提示装置等、情報教育環境の整備

主な取組

グローバル化に向けた英語教育推進事業	情報教育推進事業
情報教育環境の整備（幼稚園）	情報教育環境の整備（小学校）
情報教育環境の整備（中学校）	情報教育環境の整備（特別支援学校）
英語外部試験受験料等助成事業	情報教育環境の整備（高等学校）

II 施策3 伊丹ならではの特色ある教育の推進

- ① 「ことば科」の改善
 - ・コミュニケーション能力やことばの力を育むための「ことば科」の指導の実施と改善
- ② 読書教育の充実
 - ・学校司書の活用の充実
 - ・学校図書館のデータベース化の推進
 - ・朝の読書等、子どもの読書活動の充実
 - ・学校図書館と図書館本館「ことば蔵」の連携の充実

主な取組

学校図書館活性化事業

伊丹の教育アピール推進事業

学校図書館データベース化事業

II 施策4 魅力ある市立高等学校づくり

- ① 生徒が「学びたい・行きたい」学校づくりに向けた、さらなる活性化の推進
 - ・キャリア教育の充実
 - ・グローバルコミュニケーションコースの充実
 - ・生徒の希望する進路実現の取組を通じた、大学合格実績の向上
 - ・主権者教育の充実
 - ・今後の大学入試改革を見据えた、高大接続に向けての調査研究の実施
- ② 伊丹市ならではの特色化を図りつつ、地域に開かれた学校づくりの推進
 - ・市長部局との連携による商店街活性化の取組や商業科における商品開発

主な取組

市立伊丹高校活性化事業

市立伊丹高校特色化事業（土曜公開講座）

市立伊丹高校管理運営事業

交流共育プロジェクト

市立伊丹高校の整備・充実

II 施策5 特別支援教育の推進

- ① 「改訂版今後の特別支援教育のあり方について（基本方針）」に基づく取組
 - ・学校園における基礎的環境整備と合理的配慮の提供の促進
 - ・学級活動や教科等の授業のユニバーサルデザイン化
 - ・教職員の専門性向上
 - ・生徒指導等における特別支援教育の知見の活用
 - ・インクルーシブ教育システムの構築
- ② 伊丹特別支援学校のセンター的機能の充実

主な取組

伊丹市特別支援教育審議会事業
障害児の自然体験活動推進事業
特別支援教育支援員配置事業
特別支援教育巡回相談員派遣事業
特別支援学校通学バスの更新

なかよしキャンプ事業
伊丹市教育支援委員会事務
特別支援学校管理運営事業
特別支援教育ことばの支援教室事業
伊丹特別支援学校活性化事業



タブレットを使った特別支援学級の授業



雑巾の片付けのユニバーサルデザイン化

*主要施策 2. 豊かな心と健やかな体の育成

豊かな心を育む道徳教育、情操教育の推進については、子どもたちの豊かな情操や規範意識、自尊感情、他者への思いやり、社会性や公共の精神等を育むため、「特別の教科道徳（道徳科）」を要とした道徳教育や体験活動を充実する。

また、子どもたちが、自らの生き方・働き方を考え、将来への夢や希望を持ち、それを実現しようとする主体的・能動的態度等を育成するためのキャリア教育を推進する。

子どもの問題行動への対応については、「いじめ防止対策推進法」及び「伊丹市いじめ防止等のための基本的な方針」に基づき、いじめを漏れなく組織で認知し、その解消に向けた早期の取組を進める。

各学校においては、自校の「いじめ防止基本方針」を毎年、自校の実態にあったものに見直し、全職員で組織的に取り組むとともに、日々の学校生活の改善や気持ちの通い合う温かい学級づくり、冒険教育施設を活用した自尊感情の育成に資する事業等を通して、いじめや不登校、問題行動等の未然防止に取り組む。

さらに、学校が抱える課題が複雑化する中、校長のリーダーシップのもと、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの積極的な活用等による「チーム学校」としての組織的な対応を行うとともに、家庭・地域・警察等関係機関との連携をさらに進める。

子どもの健やかな体づくりと部活動の推進については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析を詳細に行うとともに、「体力・健康づくり推進プラン」に基づく小中連携による体育授業の充実、授業研究会等による体育授業の改善、スポーツバッジ認定制度の実施、体力向上推進員の派遣などの具体的な取組を実施する。さらに、業間休みにおける外遊びの充実など、学校での運動の日常化に努める。

健全な食生活の推進については、中学校給食の実施をふまえ、小学校給食の充実を進めるとともに、学校・家庭・地域の連携による食育を推進する。

II 施策 1 豊かな心を育む道徳教育、情操教育の推進

① 「特別の教科道徳（道徳科）」の研究

- ・道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実
- ・授業研究会の実施
- ・適切な評価の在り方についての研究

② 体験活動の充実

- ・ボランティア活動などの社会奉仕体験活動の充実
- ・自然体験活動の充実
- ・音楽や芸術に関する活動等の充実

③ 「キャリア教育」の推進

- ④ 小中学校の社会科の授業等を通じた、「伊丹」に誇りを持てる児童生徒の育成

主な取組

各種音楽会関係事務
中学校進路指導委託事業
小中学校社会科副読本

学校園展示物関係事業
「トライやる・ウィーク」事業
キャリア教育推進事業

小学生の自然体験事業
伊丹市生徒会活性化推進事業
道徳教育推進事

II 施策2 子どもの問題行動への対応

- ① いじめの防止・いじめの早期発見・いじめへの対処
 - ・「伊丹市いじめ防止等のための基本的な方針」に基づく、組織的で実効性のある取組の推進
 - ・「伊丹市いじめ防止等対策審議会」の開催
 - ・各学校における「いじめ防止基本方針」の毎年度見直しと組織的な取組
- ② 不登校・問題行動等の未然防止
 - ・日々の学校生活の改善（児童生徒が規律正しい態度で授業や学校行事に主体的に参加し、活躍できるための授業改善や生徒指導等の取組、学校行事の見直し等）
 - ・冒険教育施設の活用等による子どもたちの豊かなコミュニケーションを育む学級づくり
 - ・生徒会活動や児童会活動による自尊感情の育成等
- ③ インターネットやスマートフォン等への対応
 - ・家庭との連携のもと、子どもたちが加害者にも被害者にもならないような具体的な対応策の実施
- ④ 「チーム学校」による健全な規範意識を持つ青少年の育成
 - ・学校・家庭・地域・関係機関が連携した規範意識の育成
 - ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの積極的な活用
 - ・警察等関係機関との連携

主な取組

スクールサポート事業
スクールカウンセラー活用事業
ピアサポートプログラム（冒険教育）推進事業
教育相談事業

伊丹市いじめ・不登校総合対策推進事業
生徒指導委託事業
不登校児童生徒の学校復帰支援事業

II 施策3 子どもの健やかな体づくりと部活動の推進

- ① 体力の向上
 - ・全国体力・運動能力調査の結果の分析に基づく授業改善
 - ・小中連携による体育授業の充実
 - ・授業研究会等による体育授業の改善
 - ・スポーツバッジ認定制度の実施等
 - ・体力向上推進員の巡回及び指導支援
- ② 部活動への積極的支援
 - ・各種大会への補助

- 外部指導者の派遣
- ③ 健康教育に関する研修会の開催
- ④ 学校園の環境整備等

主な取組

中学校運動部活動外部指導者派遣事業	県大会、近畿大会助成制度事務
小学校水泳交流会	中学校総合体育大会
中学校連合体育大会	小学校連合体育大会
部活動助成制度事務	部活動支援事業
健康教育推進事業	体力・健康づくり推進事業
体力向上推進員派遣事業	

II 施策4 健全な食生活の推進

- ① 健やかな体の育成と食育の推進
 - 栄養バランスのとれた、温かくておいしい学校給食の提供
 - 安全で安心できる学校給食の実施
 - 給食を生きた教材として活用する取組による食育の推進
 - 地産地消の推進
- ② 小学校給食の充実
 - より安全で質の高い給食の提供
 - 給食センター調理機器等の更新による衛生管理の充実
 - 食物アレルギー対応給食の提供
- ③ 中学校給食の実施
 - 心身の健全な発達と望ましい食習慣の形成
 - 「伊丹市中学校給食基本計画」に基づく完全給食の実施
 - 食物アレルギー対応給食の提供

主な取組

健全な食生活推進事業	給食センター施設設備整備等
中学校給食施設整備事業	中学校給食荷受場等整備事業
学校給食費管理徴収等事業	

★主要施策 3. 信頼される開かれた学校づくり

学校園情報の積極的な発信と学校園運営への市民参画については、教育広報紙や教育情報紙、ホームページ等あらゆる媒体を通じ効果的かつタイムリーな教育情報を発信し、伊丹の教育の現状や課題等の情報共有を図る。また、地域のニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるため、平成28年3月、新たに4校に設置した「学校運営協議会」を、平成32年度までに全ての小中学校及び市立伊丹高等学校に設置する。

安全・安心な学校園づくりについては、通学路等における児童生徒等の安全を確保するため、「安全・安心見守りカメラ」の設置や通学路の点検、改善が必要な箇所についての早期対応を進める。また、消防局や危機管理室との連携の下、災害図上訓練（D I G訓練）等を活用した防災訓練を実施する。さらに、学校園施設の整備については、老朽化する施設・設備の長寿命化に向けた大規模改造工事や空調設備改修工事等を計画的に行い、安全で快適な学校園施設の充実を図る。

教職員の意識改革と資質の向上については、総合教育センターにおける初任者研修、トップリーダー研修等の教職経験に応じた研修を充実させ、事例研究等の実践的研修を通して、広い視野を持ち、系統的、発展的に学び続ける教職員を育てる。

Ⅱ 施策1 学校園情報の積極的な発信と学校園運営への市民参画

- ① 学校園情報の積極的な発信による、信頼される・開かれた学校園づくりの推進
 - ・教育広報紙や教育情報紙、ホームページ等の充実
- ② 学校園ホームページ等の定期的な更新による、積極的な学校園情報の発信
- ③ 総合教育会議の場等を活用して市長部局との連携の強化を図り、市民ニーズに対応した教育行政を推進
- ④ 「学校支援地域本部事業」等の活用
- ⑤ コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の順次導入
- ⑥ 学校評価の活用によるPDCAサイクルに基づく学校園運営の推進

主な取組

町の先生制度
表彰関係事務
学校評価推進事業

教育広報紙の発行
伊丹市学校支援地域本部事業
コミュニティ・スクール設置事業

Ⅱ 施策2 安全・安心な学校園づくり

- ① 学校園における児童生徒等の安全の確保
 - ・各種環境整備
 - ・「安全・安心見守りカメラ」の設置等

- ② 市の消防局や伊丹市防災センターとの連携のもと、災害図上訓練（D I G訓練）等を活用した防災訓練の充実
- ③ 担当部局と連携した通学路の点検
 - ・改善が必要な箇所について早期の対応
- ④ 学校園の老朽化する施設・設備の改修の計画的実施

主な取組

中学校管理運営事業	小学校管理運営事業
学校施設の修繕事業	学校施設の定期点検等事業
子どもの安全対策推進事業	学校園防犯訓練・防災教育
学校施設の大規模改造等事業	学校施設の空調設備改修事業
学校施設のアスベスト対策事業	有岡小学校増築事業
学校施設の管理工事事業	教職員対象心肺蘇生法講習会
学校施設の防災機能強化事業（外壁補修）	

II 施策3 教職員の意識改革と資質の向上

- ① 「専門家としての確かな力量」「人間力」を高める、経験に応じた研修の充実
 - ・課題探求型の学習や協働的な学び等、新たな学びの展開のための授業力の向上
 - ・実践的指導力及び高度な専門的知識の習得
 - ・地域と連携・協働する力の向上
 - ・教職員等の人権意識の向上
 - ・人事評価・育成システムを活用した教職員一人ひとりの資質向上と学校園の組織力強化
- ② 大学等との連携のもと、教職員の経験に応じた研修の実施
 - ・初任者研修の充実
 - ・2年次・3年次研修の充実
 - ・主幹教諭の適正な配置とミドルリーダー養成研修の充実
 - ・管理職研修（トップリーダー研修）等の充実
- ③ 課題に応じた研修講座の充実
- ④ 各学校園における、校園長のリーダーシップのもと、OJTの活用等
 - ・自校園の実態に応じた効果的な校内研修を計画的、組織的に推進
- ⑤ 教職員の人事配置
 - ・ベテラン教員から若手教員への技術の伝承
 - ・ミドルリーダーの人材育成
 - ・若手教員や女性教員を積極的に起用
 - ・人事交流等をさらに活性化し優秀な人材を確保
- ⑥ 「我が校園の教育ビジョン」及び教職員の自己PRの積極的な活用
 - ・校園長の教員人事に関する意向を反映した人事異動による、各校園の組織マネジメントの支援
- ⑦ 校務の効率化による、子どもと向き合う時間の確保

主な取組

学校力アップ事業
初任者・経年研修事務
授業力向上（カリキュラム）支援センター

教職員研修関係事業
教職員のための各種講座及び研修・研究活動
総合教育センター管理事業



授業における「書く」活動



研究発表会

施策目標 3. ライフステージごとに学び活躍する人づくり

*主要施策 1. 生涯にわたる主体的な学習の支援

市民の主体的な学習や活動の支援については、さまざまな社会教育施設（公民館・図書館・博物館・生涯学習センター・北部学習センター）において、多様化する市民ニーズや時代とともに変化する社会の課題に的確に対応するために、事業の企画だけでなく運営においても、市民の自発的・主体的な参画を推進する。

また、市民の学習成果を地域社会に還元することにより、人づくりをまちづくりにつなげる。

社会教育施設等の効果的活用については、安心・安全・快適な施設運営を心がけ、利用者の利便性の向上に資するとともに、社会教育施設の特性を活かし、各々のネットワークにより、新たな学習機会の創出を図る。

伊丹の特色を活かした学びの創出については、伊丹の自然・歴史・文化等の地域資源を活用し、郷土に対する愛着を高めるとともに、「ことば」に気軽にふれあい、大切にする環境づくりに努める。

II 施策 1 市民の主体的な学習や活動の支援

- ① 市民の主体的な学習グループが安心して活動できる場の提供
- ② 人権、平和、環境、家庭教育、高齢社会などの「社会の要請」に応じた多種多様な事業の実施
- ③ コーディネート機能の充実による学習成果の地域社会への還元

主な取組

生涯学習ボランティア活動の推進
公民館グループ活動支援事業
市展事業

公民館事業推進委員会活動事業
講座等生涯学習活動支援事業

II 施策 2 社会教育施設等の効果的活用

- ① 公民館管理運営事業の推進
 - ・主体的な市民グループが安心して活動できる場の提供
- ② 図書館管理運営事業の推進
 - ・本館「ことば蔵」、南分館、北分館、神津分館、西分室が図書館ネットワークを活用し、相互に連携した管理運営を実施
- ③ 博物館管理運営事業の推進
 - ・利用者の見学・学習環境、安全と利便性の向上に向けた取組

- ・適切な館蔵資料の保存と、施設の維持管理の実施
- ④ 生涯学習センター・北部学習センター運営事業
- ・指定管理者制度のメリットを活かしながら、地域の生涯学習の拠点として公民館と連携し事業を展開
- ⑤ 社会教育ビジョンの策定

主な取組

生涯学習センター管理運営委託事業
公民館の整備・充実
公民館管理運営事業
図書館本館・西分室管理運営事業
図書館北分館運営事業
図書館神津分館運営事業
博物館施設の改修・修繕

北部生涯学習センター管理運営委託事業
生涯学習センター施設整備
視聴覚ライブラリー運営事業
北部学習センター施設整備
図書館南分館運営事業
博物館管理運営事業

II 施策3 伊丹の特色を活かした学びの創出

- ① 博物館において、地域の歴史・文化に対する市民理解を深め、郷土伊丹への誇りと愛着を育む取組
- ・『新・伊丹市史』編纂に向けた調査研究の継続
 - ・市内各所において、展覧会や諸行事、出前講座等、市民各世代に向けた切れ目のない事業の実施
 - ・図書館本館「ことば蔵」の歴史・文化発信機能の活用による展示等の情報発信
- ② 図書館における市民の読書活動の推進
- ・購入などによる図書館資料の充実
 - ・本館「ことば蔵」は、市民の参画と協働のもと、中心市街地のにぎわいの一翼を担う

主な取組

図書館本館活動事業
図書館図書充実
博物館の整備・充実

「ことば蔵」交流事業
「ことば蔵」の歴史・文化情報発信事業

*主要施策 2. 生涯スポーツの推進

生涯スポーツの環境づくりについては、市民一人ひとりが、生涯にわたり身近にスポーツに親しみ、楽しむことのできる環境を整備するとともに、市民の心身の健全な発達、健康の保持増進を図るために「生涯スポーツ推進計画」を策定する。

伊丹の特色・資源・人材を活かしたスポーツ振興については、「全国なぎなた選抜大会を継続開催し、「なぎなたのまち伊丹」をアピールする。

II 施策 1 生涯スポーツの環境づくり

- ① 「新伊丹生涯スポーツ振興基本計画」に基づく地域の特色を活かしたスポーツの振興の推進
- ② スポーツ団体や地域と協力して生涯スポーツの環境づくりの推進
 - ・総合型スポーツクラブ（スポーツクラブ21）活動などの取組の実施
 - ・安全を最優先にした施設の整備
 - ・健康づくり大作戦に対応できる、体育の日の集いを中心とした市民スポーツ祭
 - ・サタデージョギングの実施
 - ・伊丹市スポーツ推進委員が考案した、「いたっボール」の交流大会や、ニュースポーツの大会の支援
 - ・指導者の養成や資質の向上
 - ・出前講座をはじめ地域に対する指導者の派遣
- ③ 安全を最優先にした施設の整備

主な取組

スポーツの活動支援

生涯スポーツに向けた環境整備

サタデージョギング教室

伊丹スポーツセンター施設整備補助

新生涯スポーツ振興基本計画ハード事業

II 施策 2 伊丹の特色・資源・人材を活かしたスポーツ振興

- ① 「新伊丹市生涯スポーツ振興基本計画」に基づく地域の特色を活かしたスポーツの振興の推進
 - ・伊丹発祥の「いたっボール」や「なぎなた」等の推進
 - ・「なぎなたのまち伊丹」について広報活動の充実
- ② 「なぎなたのまち伊丹」としての特色的活用
 - ・中学校体育でのなぎなたの実施
 - ・全国高等学校なぎなた選抜大会の開催等の取組

主な取組

全国高等学校なぎなた選抜大会

政策目標3. にぎわいと活力にあふれるまち

施策目標1. 個性とにぎわいあるまちづくり

*主要施策 3. 文化資源の保存・継承・活用

文化財の保存と情報発信については、伊丹の豊かな歴史文化遺産を守り、伝え、活かすことにより、地域住民のアイデンティティーを醸成し、誇りと愛着に溢れたまちづくりをすすめる。

文化財を活かしたまちづくりについては、文化施設や文化財ボランティアなどの活動を通して、伊丹の文化的魅力を市内外に情報発信し、「訪れたいまち伊丹」、「住みたいまち伊丹」を実現する。

II 施策1 文化財の保存と情報発信

- ① 市内に所在する文化財の適切な保存・継承
 - ・図書館や文化財保存団体と連携
 - ・むぎわら音頭、摂津音頭保存会の協力を得て民俗芸能講習会を開催
 - ・文化財愛護少年団の活動を支援
- ② 市内遺跡から出土した埋蔵文化財の公開・活用
- ③ 『伊丹市立博物館史料集』の刊行
- ④ 地域と連携した在地史料の調査・研究と展示の開催

主な取組

博物館史料集刊行事業	文化財管理事業
伊丹廐寺跡史跡等買上げ事業	文化財発掘調査事業
旧村史料調査事業 & 「旧村シリーズ」展示	口酒井遺跡用地活用事業

II 施策2 文化財を活かしたまちづくり

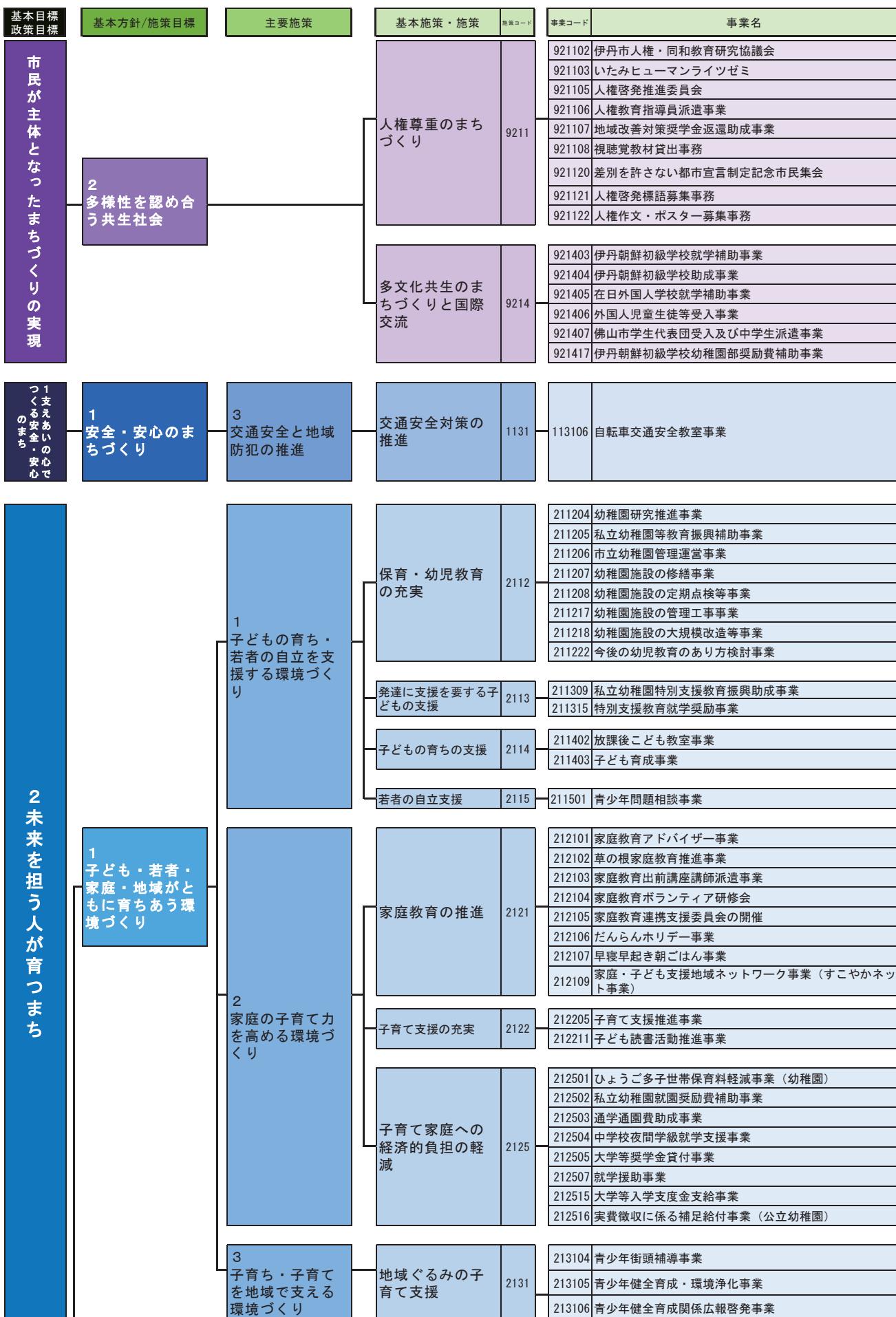
- ① 文化財ボランティアガイドの育成・支援
- ② 伊丹の歴史・文化財を活用した事業の開催

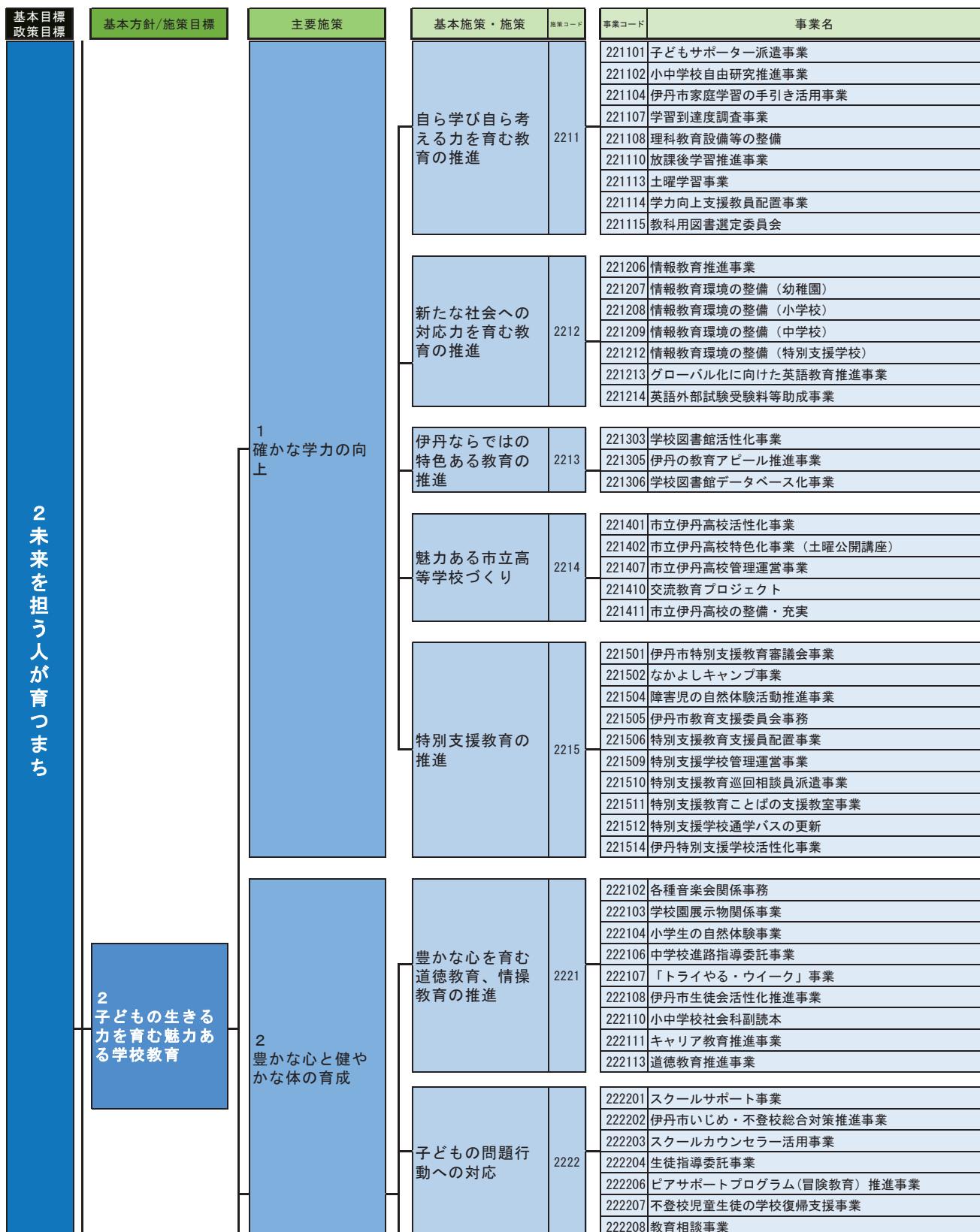
主な取組

歴史・文化が醸し出す伊丹ロマン事業	文化財保護啓発事業
-------------------	-----------

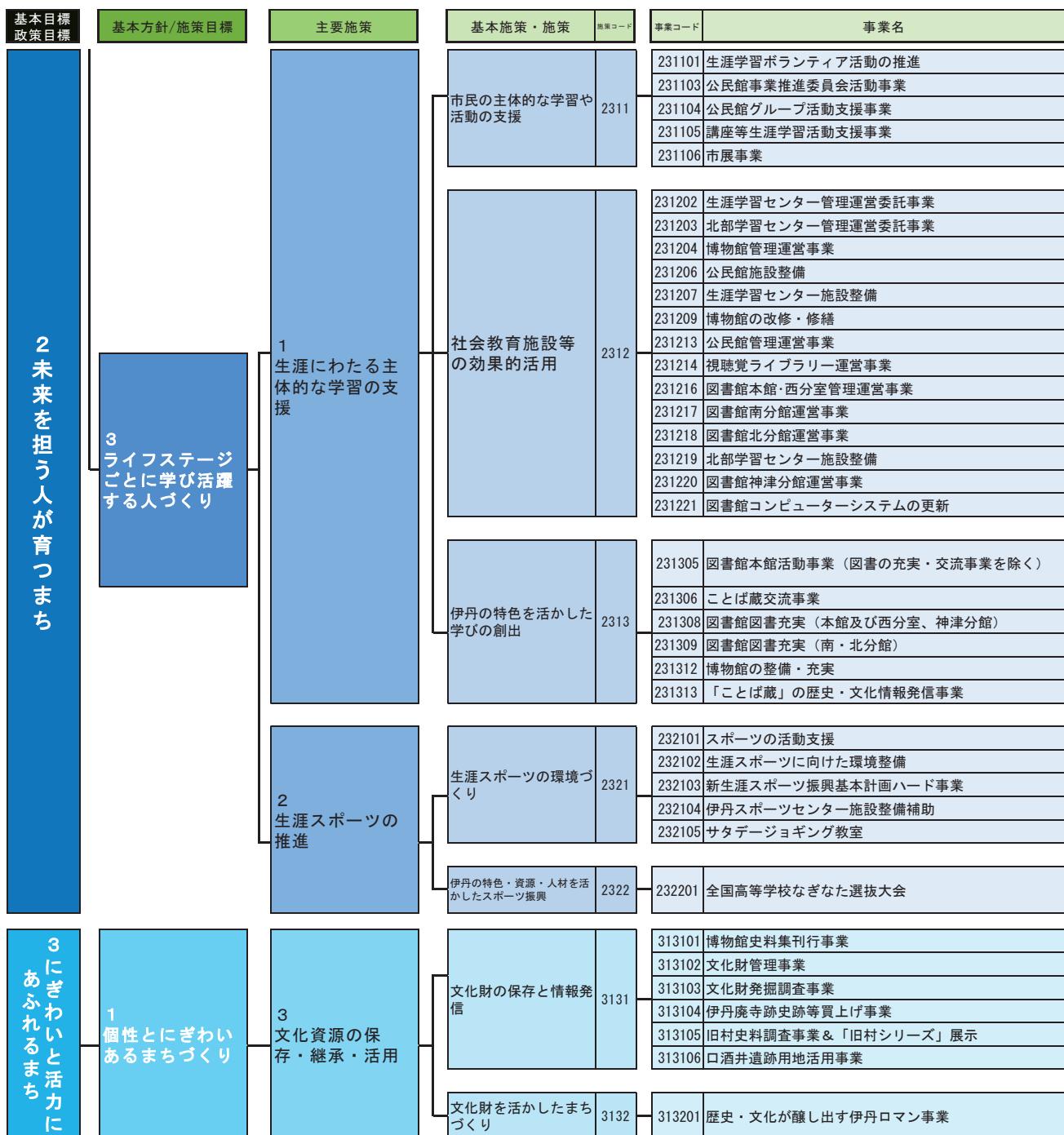
IV 施策体系図

IV 施策体系図





基本目標 政策目標	基本方針/施策目標	主要施策	基本施策・施策		事業名			
			施策コード	事業コード				
2 未来を担う人が育つまち	2 豊かな心と健やかな体の育成	子どもの健やかな体づくりと部活動の推進	2223	222303 中学校運動部活動外部指導者派遣事業 222304 県大会、近畿大会助成制度事務 222305 小学校水泳交流会 222306 中学校総合体育大会 222307 中学校連合体育大会 222308 小学校連合体育大会 222309 部活動助成制度事務 222310 部活動支援事業 222311 健康教育推進事業 222313 体力・健康づくり推進事業 222314 体力向上推進員派遣事業				
		3 信頼される開かれた学校づくり	健全な食生活の推進	2224	222401 健全な食生活推進事業 222402 給食センター施設設備整備等 222404 中学校給食施設整備事業 222405 中学校給食荷受場等整備事業 222406 学校給食費管理徴収等事業			
			3 信頼される開かれた学校づくり	学校園情報の積極的な発信と学校園運営への市民参画	2231	223101 町の先生制度 223102 教育広報紙の発行 223103 表彰関係事務 223104 伊丹市学校支援地域本部事業 223106 学校評価推進事業 223107 コミュニティ・スクール設置事業		
				3 信頼される開かれた学校づくり	安全・安心な学校づくり	2232	223201 中学校管理運営事業 223202 小学校管理運営事業 223203 学校施設の修繕事業 223204 学校施設の定期点検等事業 223205 子どもの安全対策推進事業 223206 学校園防犯訓練・防災教育 223207 学校施設の大規模改修等事業 223208 学校施設の空調設備改修事業 223209 学校施設のアスベスト対策事業 223211 学校施設の管理工事事業 223212 教職員対象心肺蘇生法講習会 223213 有岡小学校増築事業 223214 学校施設の防災機能強化事業（外壁改修）	
					3 信頼される開かれた学校づくり	教職員の意識改革と資質の向上	2233	223301 学校力アップ事業 223302 教職員研修関係事業 223304 初任者・経年研修事務 223306 教職員のための各種講座及び研修・研究活動 223307 授業力向上（カリキュラム）支援センター 223311 総合教育センター管理事業



V 今後 5 年間の具体的な取組

実施計画各論

- 実施計画各論において、基本目標では「基本方針」ごとに、政策目標では「施策目標」ごとに、それぞれ「政策的・投資的経費」にかかる事業を示す。
- 「政策的・投資的経費」にかかる事業は、次のように分類し、それぞれ記号で示す。

事業種別	記号
政策的経費 いわゆる「ソフト事業」と呼ばれるもので、経常的に継続的に実施している事業のうち、特に政策的観点から計画事業として位置づけられるものが対象	【継続・充実】 ◎
投資的経費（インフラ・その他分） いわゆる「ハード事業」と呼ばれるもので、建築物や道路・公園・上下水道などの施設の新設や改良、保全等の事業。また、大型物品や重要物品等の購入も含む。	【新規】 ●
投資的経費（再配置計画推進分） 投資的経費にかかる事業のうち、「公共施設マネジメント」を推進するための事業で、公共施設等の機能移転や複合化、また次世代に引き継ぐ施設においてライフサイクルコストを縮減し、長寿命化に資する事業が対象	【継続・充実】 ◇ 【新規】 ◆
	【継続・充実】 □ 【新規】 ■

- 「伊丹創生総合戦略」に位置づけられた事業については、「創」で示す。
- さらに、行政評価における基本方針・主要戦略ごとの主な「成果指標」や「指標の性質」、また、目標年次である平成32年度時点での「目標値」などを表示している。

指標の性質	記号
上げたほうが良い指標	↑
下げたほうが良い指標	↓
現状を維持するほうが良い指標	→

基本目標	市民が主体となったまちづくりの実現	基本方針	多様性を認め合う共生社会					
基本施策コード	9211	基本施策名	人権尊重のまちづくり					
施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが人権について理解を深め、これを体得できるような市民主体の人権尊重のまちづくりの推進 ・多様性を認め合う共生社会の実現 							
成績指標								
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)		
	① 人権教育・啓発事業への参加人数(人)	↑	都市宣言市民集会参加者十人権作文・ポスター応募者十人権啓発標語応募者数(実数)(H27年の実績に基づき目標値を設定)	目標	9,670	9,690		
				実績	9,665			
	② 各種研修会の開催数(回)	↑	小学校区別研修会回数+いたみヒューマンライツゼミ回数+人権教育指導員派遣研修会回数+伊同教関係研修回数	目標	170	170		
				実績	170			
	③ 人権啓発センターの利用者数(人)	↑	人権センター、児童館及びふれあいセンター3施設の利用者数	目標	110,000	110,000		
				実績	109,887			
手段	記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容				
	921102	伊丹市人権・同和教育研究協議会		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人権課題について、多様な場での研修、啓発を実施する。 				
	921103	いたみヒューマンライツゼミ		<ul style="list-style-type: none"> ・参加体験型学習をとおして、その手法を身につけ、生活者として実践する態度を養う研修を実施する。 				
	921105	人権啓発推進委員会		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人権課題についての人権研修を実施する。 ・人権啓発推進委員が企画し、人権啓発講座を運営する。 				
	921106	人権教育指導員派遣事業		<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、企業等で開催される人権教育研修会において指導助言を行う。 ・人権教育指導員に対する研修会を実施する。 				
	921107	地域改善対策奨学金返還助成事業		<ul style="list-style-type: none"> ・地域改善対策奨学金返還者に対して助成を行う。(現在は経過措置のみ) 				
	921108	視聴覚教材貸出事業		<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発に関する視聴覚教材の貸出を行う。 				
	921120	差別を許さない都市宣言制定記念市民集会		<ul style="list-style-type: none"> ・都市宣言制定日に市民集会を開催する。(都市宣言朗読、人権作文・ポスター・標語入賞者表彰、人権作文朗読、記念講演) 				
	921121	人権啓発標語募集事業		<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発標語を募集する。(高校生以上) ・入賞作品の表彰と作品展示及びポスターの活用を行う。 				
	921122	人権作文・ポスター募集事業		<ul style="list-style-type: none"> ・人権作文、人権ポスターを募集する。(小・中・特支学校生) ・人権作文入賞作品の表彰と「人権週間記念作文集」への掲載を行う。 ・人権ポスター入賞作品の表彰と作品展示及びポスターの活用を行う。 				

基本目標		市民が主体となったまちづくりの実現		基本方針	多様性を認め合う共生社会					
基本施策コード		9214	基本施策名	多文化共生のまちづくりと国際交流						
施策の目的 (目指すべき姿)		<ul style="list-style-type: none"> ・民族的な偏見や差別を解消し、外国人市民とともに多文化共生のまちづくりを推進する。 ・国際化社会に対応するため、市民レベルでの相互理解と国際感覚の涵養を図る。 								
目的		成果指標								
目的	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)		
	① 国際交流関連事業の参加者数(人)		↑	国際姉妹友好都市交流・語学講座等国際交流関連事業への参加者数		目標	2,200	2,600		
	② 伊丹マダン参加者数(人)		↑	伊丹マダンの出演者を含む参加者数 (屋外開催のため天候の影響を受ける)		目標	4,000	4,200		
						実績	2,099			
						実績	1,500			
手段		事務事業名			事業の内容					
手段	記号	事務事業コード								
	921403	伊丹朝鮮初級学校就学補助事業	市内在住で伊丹朝鮮初級学校に通学する児童の保護者を対象に児童1人当たり年額70,000円の就学補助金を交付する。							
	921404	伊丹朝鮮初級学校助成事業	校園長、教諭等の資質向上、園児の健康増進・安全管理、園児の教材購入事業及びその他教育環境・教育内容の充実に関する事業に係る費用に対して、伊丹朝鮮初級学校(初級部・幼稚園部)にそれぞれ年額50万円を助成する。							
	921405	在日外国人学校就学補助事業	市内在住で市外の外国人学校(初級部・中級部)に通学する児童生徒の保護者を対象に児童生徒1人当たり年額48,000円の就学補助金を交付する。							
	921406	外国人児童生徒等受入事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導・適応指導を必要とする外国人園児児童生徒の受入学校園に対して、一定の期間適応指導員を派遣し、個別指導及び同室複数指導を行う。 ・日本語理解が不十分な保護者に対し、懇談時等において適応指導員を派遣する。 							
	921407	佛山市学生代表団受入及び中学生派遣事業	伊丹市国際友好都市、中国・佛山市との教育交流の一環として、佛山市の中学生の受入と伊丹市立中学校の生徒の派遣を毎年実施し、小・中学校での学生間の交流活動や市内外の見学等を行う。							
	921417	伊丹朝鮮初級学校幼稚園部奨励費補助事業	幼稚園部の設置者が当該幼稚園部に在園する3歳児、4歳児及び5歳児で本市の区域内に住所を有する者の入園料及び保育料を減免する場合に、入園料及び保育料の合計額を補助金として幼稚園部の設置者に交付する。市民税所得割課税額等により、支給階層を設定(第1子・第2子で補助金額が異なる)。							

政策目標	支え合いの心でつくる安全・安心のまち	施策目標	安全・安心のまち			
施策コード	1131	施策名	交通安全対策の推進			
施策の目的 (目指すべき姿)	・市民への交通安全の啓発を、関係機関と連携を図りながら行い、また交通安全標識等を整備することにより、交通事故発生件数の減少を目指す					
成績指標						
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
	① 年間交通事故発生件数 (件)	↓	年間事故発生件数/人口(各年1月1日現在)×10,000 (人口1万人あたり)	目標	56	52
	② 年間の自転車関連事故件数(件)	↓	年間自転車関連事故件数/人口(各年1月1日現在)×10,000(人口1万人あたり)	目標	21	17
	③ 年間の高齢者交通事故発生件数(件)	↓	伊丹市内における高齢者の年間交通事故発生件数	目標	235	227
実績	57	22	237			
手段	記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容		
	創	113106	自転車交通安全教室事業	・下記の具体的な演示を取り入れた自転車交通安全教室を実施 ・車やトラックの制動距離に関する実験 ・トラックの左折時に内輪差による巻き込み実験 ・自転車の飛び出しによる車との衝突実験(ダミー人形を使用、DVD等を活用した交通安全教室)		

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり									
施策コード	2112	施策名	保育・幼児教育の充実										
施策の目的 (目指すべき姿)	<p>・多様な保育ニーズに対応するため、保育所での保育をはじめ、延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育、統合保育など保育サービスの充実を図る。</p> <p>・社会の変化に対応した柔軟かつ特色をもった幼稚園運営を行う。また、地域の幼児教育センターとしての役割を担い子育て支援に取り組む。私立幼稚園に対しては、それぞれの園の自主性を尊重しつつ、適正な支援に取り組む。</p>												
成績指標													
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等										
	① 保育所等待機児童数(人)	→	保育所等待機児童数(年度当初)										
			目標	0	0								
			実績	13									
	② 特別保育年間利用数(人)	↑	延長保育、一時保育、休日保育、病後児保育の年間延べ利用数										
			目標	8,695	8,881								
			実績	8,212									
	③ 公私立幼稚園・認定こども園(1号認定)定員充足率(%)		公立幼稚園・公私立認定こども園(の教育標準時間認定子ども(1号認定))における利用定員数(募集定員)及び私立幼稚園における認可定員数の合計に対するそれぞれの就学前施設における利用者数(就園者数)の合計の割合										
			目標										
手段	事務事業コード	事務事業名	事業の内容										
	211204 幼稚園研究推進事業		<ul style="list-style-type: none"> 教職員の資質向上による保育の充実を目指して、講師を招聘し研究を進める。 研究発表までの経過や成果などを研究紀要にまとめ、市内全園で共有する。 各教育委員会指定の研究発表会、教育課程研修会等、各種広域研修会に参加する。 										
	211205 私立幼稚園等教育振興補助事業		校園長、教諭等の資質向上、園児の健康増進・安全管理、園児の教材購入事業及びその他教育環境・教育内容の充実に関する事業に係る費用に対して、市内の私立幼稚園に1園あたり年額50万円を助成する。										
	211206 市立幼稚園管理運営事業		<ul style="list-style-type: none"> 園予算編成及び決算に関すること。 教材校具等の購入及び整備に関すること。 園執行支分払に関すること。 										
	211207 幼稚園施設の修繕事業		園舎等の防水、内外装、給排水設備、電気設備等、主に緊急を要する施設の改修、維持修繕										
	211208 幼稚園施設の定期点検等事業		建築基準法他、関係諸法で規定されたものをはじめ、施設の適切な維持管理に必要とされる各種点検・調査を実施(16園)										
	□ 211217 幼稚園施設の管理工事事業		<ul style="list-style-type: none"> 園舎の老朽化した外壁、防水、内装、給排水設備、電気設備の改修等 教育内容の多様化に対応する園舎等改造(大規模改造等事業対象外の事業) 										
	□ 211218 幼稚園施設の大規模改造等事業		<ul style="list-style-type: none"> 園舎の老朽化した外壁、防水、内装、給排水設備、空調設備、電気設備の改修 教育内容の多様化に対応する園舎等の改造 外壁下地や窓ガラスの落下防止措置等、非構造部材の耐震化(防災機能強化)改修 										
	● 211222 今後の幼児教育のあり方検討事業		<ul style="list-style-type: none"> 市民からの丁寧な意見聴取と市民理解を図る取組を実施する。 伊丹市学校教育審議会答申を踏まえ、教育委員会の基本方針及び実施計画策定に向け検討する。 										

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり
施策コード	2113	施策名	発達に支援を要する子どもの支援

目的	<p>発達に支援が必要な子どもと保護者を対象に相談・早期療育を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援する。</p> <p>(目指すべき姿) 保健・医療・福祉・教育が連携し、子どものライフステージに応じ総合的で一貫した支援を行う。子どもの発達や障がいに関する啓発活動や情報発信を通じて、市民理解の促進を図る。</p>				
	成果指標				
	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等		
			H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
			目標		
	① 「こども発達支援センター」の相談件数(件)	↑	相談支援や児童精神科医・心理療法士等の専門相談の件数	4,700	4,700
			実績	4,528	
			目標		
	② 地域訪問型サービスの利用者数(人)	↑	保育所等訪問支援の利用者数、巡回相談実施回数、スタッフ派遣実施回数の合計	450	570
			実績	353	

手段	記号 事務 事業 コード	事務事業名	事業の内容		
	211309	私立幼稚園特別支援教育振興助成事業	障がいのある児童を受け入れている私立幼稚園の設置者に園児一人あたり年額144,000円(12,000円×12ヶ月)の助成を行う。		
	211315 2125)	特別支援教育就学奨励事業<上位施策変更:旧 2125>	教育の機会均等の趣旨にのっとり、障がいのある児童・生徒の小中学校へ就学の特殊事情にかんがみ、特別支援学級在籍の児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学のための必要な経費の一部を支給する。		

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり
施策コード	2114	施策名	子どもの育ちの支援

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	成果指標					
		指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
	① 児童くらぶ待機児童数(人)	→	人的配置や施設整備により、児童くらぶの待機児童を出さないことを目標とする。	目標	0	0	
	② 児童館3館利用者数(人)	→	児童館3館の利用者数	目標	148,000	148,000	
				実績	148,000.0		

手段	記号 事務 事業 コード	事務事業名	事業の内容		
			①「伊丹子ども市展」等の開催	②公民館子ども教室(季節行事・工作教室等)の開催	
	211402	放課後こども教室事業	・安全指導員、学習アドバイザー及びコーディネーターを配置する。 ・放課後等に小学校の余裕教室等を利用して学習活動、体験活動等を実施する。		
	211403	子ども育成事業			

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり																							
施策コード	2115	施策名	若者の自立支援																								
施策の目的 (目指すべき姿)	困難を有する若者等を含めた青少年や保護者に対して相談体制を整備したり、教育、福祉、更生保護などに関する支援を関係機関と連携して行うことで、若者の自立した社会生活に向けて支援していく。																										
目的	<p style="text-align: center;">成果指標</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名(単位)</th> <th rowspan="2">性質</th> <th rowspan="2">指標の意味・算式等</th> <th>H26 (基準年度)</th> <th>H28</th> <th>H32 (最終)</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 若者自立支援相談者延べ人 数(人)</td> <td>↑</td> <td>困難を抱える若者とその家族を支援する立場から相談窓口の周知が進み、指標が上がることを当面の目標とする。ただし、本来の目的は相談しなければいけない状況を改善することにあり、当該指標が下がっていくことを目標とする。</td> <td>24</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>② ひきこもり対策等の充実施策 に満足している人の割合(%)</td> <td>→</td> <td>「市民意識調査」で「保育・幼児教育の充実、児童虐待・ひきこもり対策等の充実」に満足・やや満足と答えた人の割合</td> <td>13</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>						指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)	目標	実績	目標	① 若者自立支援相談者延べ人 数(人)	↑	困難を抱える若者とその家族を支援する立場から相談窓口の周知が進み、指標が上がることを当面の目標とする。ただし、本来の目的は相談しなければいけない状況を改善することにあり、当該指標が下がっていくことを目標とする。	24	48	48	② ひきこもり対策等の充実施策 に満足している人の割合(%)	→	「市民意識調査」で「保育・幼児教育の充実、児童虐待・ひきこもり対策等の充実」に満足・やや満足と答えた人の割合	13	30	30
指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)																						
			目標	実績	目標																						
① 若者自立支援相談者延べ人 数(人)	↑	困難を抱える若者とその家族を支援する立場から相談窓口の周知が進み、指標が上がることを当面の目標とする。ただし、本来の目的は相談しなければいけない状況を改善することにあり、当該指標が下がっていくことを目標とする。	24	48	48																						
② ひきこもり対策等の充実施策 に満足している人の割合(%)	→	「市民意識調査」で「保育・幼児教育の充実、児童虐待・ひきこもり対策等の充実」に満足・やや満足と答えた人の割合	13	30	30																						
手段	事務 記号	事業 コード	事務事業名	事業の内容																							
	211501	青少年問題相談事業	・青少年への共感的理解を基盤とした電話相談、来所相談、合同教育相談、進路相談等の特性を生かした相談活動の実施																								

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり					
施策コード	2121	施策名	家庭教育の推進						
施策の目的 (目指すべき姿)		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安心して健やかに成長できる家族や地域の環境づくりを支援する。 家庭教育を「人づくり・まちづくり」の基礎として位置づけ、市民ぐるみの支援を図る。 							
成果指標									
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等			H26 (基準年度)			
	① 小学生の朝ごはん摂取率 (%)	↑	全国学力・学習状況調査(H28の目標値はH27全国平均値)	目標	87.6				
				実績	86.3				
	② 中学生の朝ごはん摂取率 (%)	↑	全国学力・学習状況調査(H28の目標値はH27全国平均値)	目標	83.8				
				実績	82.1				
手段	事務事業コード	事務事業名	事業の内容						
	212101	家庭教育アドバイザー事業	<ul style="list-style-type: none"> 公立幼稚園で実施する「みんなのひろば」に家庭教育アドバイザーを派遣する。 保護者からの育児等の家庭教育相談に応じる。 親子遊びや親同士のネットワークづくりを支援する。 						
	212102	草の根家庭教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 4ヶ月および3歳児健診時に、パンフレットの配布等により家庭教育の啓発を行う。 小学校および中学校の入学説明会時に、腹話術の上演、講話、パンフレットの配布により家庭教育の啓発を行う。 						
	212103	家庭教育出前講座講師派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> 学校園やPTA等の要請に応じて、登録講師を派遣し、家庭教育のあり方等について講話をを行う。 						
	212104	家庭教育ボランティア研修会	<ul style="list-style-type: none"> 登録ボランティアの研修会を実施する。 						
	212105	家庭教育連携支援委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 全体会及び専門部会(第1～第3)を開催する。 家庭教育に関する情報の収集及び意見交換を行う。 家庭教育の支援策についての協議を行う。 						
	212106	だんらんホリデー事業	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、ちらしを発行し啓発を行う。 社会教育施設等の無料開放を実施する。 協賛店舗の協力(割引等)により親のふれあいの機会を提供する。 5月・10月に強化月間を設定する。 						
	212107	早寝早起き朝ごはん事業	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・PTA・学校園・地域・行政が一体となり、子どもの生活リズムを向上させるための活動を行う。 						
	212109	家庭・子ども支援地域ネットワーク事業(すこやかネット事業)<上位施策変更:旧2131>	<ul style="list-style-type: none"> しつけなどの家庭における教育や子育て支援活動を行う。 子どもの健やかな成長のための体験・交流活動を行う。 子どもの安全安心のためのセーフティネットづくりを行う。 地域における交流事業を実施する。 						

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり																																													
施策コード	2122	施策名	子育て支援の充実																																														
施策の目的 (目指すべき姿)	子育て中の親子に対し、親子交流や、子育てに関する相談、子育て情報の提供その他子育ち・子育てを支援するための各種事業を展開することにより、家庭における育児負担や不安感の軽減を図りつつ、子育て力の向上を図る。																																																
目的	<p style="text-align: center;">成果指標</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名(単位)</th> <th rowspan="2">性質</th> <th rowspan="2">指標の意味・算式等</th> <th>H26 (基準年度)</th> <th>H28</th> <th>H32 (最終)</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 地域子育て支援拠点事業等参加者数(年間延べ利用者:人)</td> <td>↑</td> <td>地域子育て支援拠点事業や幼稚園、共同利用施設で実施しているみんなのひろば事業等親子交流事業への参加者の合計数</td> <td>目標</td> <td>122,000</td> <td>122,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td>126,389</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 保育所の園庭開放参加者数及び育児相談者数(人)</td> <td>↑</td> <td>保育所の園庭開放参加者人数と育児不安についての相談人数(来所及び電話)の合計</td> <td>目標</td> <td>5,457</td> <td>5,457</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td>5,457</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 育児ファミリー・サポート・センター会員数(人)</td> <td>↑</td> <td>依頼会員、協力会員、両方会員それぞれの登録人数</td> <td>目標</td> <td>2,491</td> <td>2,491</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td>2,371</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)	目標			① 地域子育て支援拠点事業等参加者数(年間延べ利用者:人)	↑	地域子育て支援拠点事業や幼稚園、共同利用施設で実施しているみんなのひろば事業等親子交流事業への参加者の合計数	目標	122,000	122,000				実績	126,389		② 保育所の園庭開放参加者数及び育児相談者数(人)	↑	保育所の園庭開放参加者人数と育児不安についての相談人数(来所及び電話)の合計	目標	5,457	5,457				実績	5,457		③ 育児ファミリー・サポート・センター会員数(人)	↑	依頼会員、協力会員、両方会員それぞれの登録人数	目標	2,491	2,491				実績	2,371	
指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28				H32 (最終)																																									
			目標																																														
① 地域子育て支援拠点事業等参加者数(年間延べ利用者:人)	↑	地域子育て支援拠点事業や幼稚園、共同利用施設で実施しているみんなのひろば事業等親子交流事業への参加者の合計数	目標	122,000	122,000																																												
			実績	126,389																																													
② 保育所の園庭開放参加者数及び育児相談者数(人)	↑	保育所の園庭開放参加者人数と育児不安についての相談人数(来所及び電話)の合計	目標	5,457	5,457																																												
			実績	5,457																																													
③ 育児ファミリー・サポート・センター会員数(人)	↑	依頼会員、協力会員、両方会員それぞれの登録人数	目標	2,491	2,491																																												
			実績	2,371																																													
手段	記号 事務 事業 コード	事務事業名	事業の内容																																														
	212205	子育て支援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保護者の抱える様々な悩みや不安を気軽に相談できる体制を作る。 ・乳幼児の遊び場と在園児との交流の場の提供を行う。 ・公立幼稚園、認定こども園の教育や取り組み等のアピールを行う。 																																														
	212211	子ども読書活動推進事業	<p>ブックスタート事業の実施</p> <p>各種子ども向け行事や、保育所(園)・幼稚園・認定こども園・学校などへの図書・資料の団体貸出などの実施</p>																																														

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり
施策コード	2125	施策名	子育て家庭への経済的負担の軽減
施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援する。 ・安心して子育てができる環境の整備を図る。 ・子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。 		
目的	成果指標		
	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等
	① 就学援助の認定者数(人)	→	小・中学校における就学援助の認定者数
	② 児童手当受給対象者数(人)	→	児童手当受給対象となっている児童の人数
	③ 子育て支援医療費受給者数(人)	→	子育て支援医療費の受給者数
			H26 (基準年度) 目標 2,872 実績 2,711
			H28 25,072 24,775 実績 26,962
			H32 (最終) 15,508 15,208 実績 15,921
手段	記号 事務事業コード	事務事業名	事業の内容
創	212501	ひょうご多子世帯保育料軽減事業(幼稚園)	市立幼稚園に在園する多子世帯の保育料の一部を助成する。
創	212502	私立幼稚園就園奨励費補助事業	市在住の園児が通園する私立幼稚園が保育料等を減免する場合、保護者の所得状況等に応じて補助金を交付する。
	212503	通学通園費助成事業	下河原地域から市立学校園へ通学する児童及び通園に付き添う保護者を対象に市バス定期券(1ヶ月定期)相当額を助成する。
	212504	中学校夜間学級就学支援事業	市内在住で中学校夜間学級在学者を対象に中学校就学援助における学用品費・通学用品費相当額を助成する。(3年間を限度)
創	212505	大学等奨学金貸付事業	高校生、大学生等を対象に高校、大学(短大含む)、大学院等での修学に必要な経費の一部を貸与する。 貸与額(年額) ・高校生等 国公立 144,000円 私立 252,000円 ・大学等 国公立 180,000円 私立 240,000円
創	212507	就学援助事業	対象者からの申請に基づき、対象経費を支給する。 対象経費は①新入学学用品費(準のみ)②学用品費通学用品費(準のみ)③校外活動費(準のみ)④修学旅行費⑤情操教育費⑥特別支援学級通学費⑦卒業アルバム代⑧医療費⑨給食費(準のみ)
創	● 212515	大学等入学支度金支給事業	大学、短期大学、専修学校(専門課程)へ入学するための支度金の一部を支給する。
	212516	実費徴収に係る補足給付事業(公立幼稚園)	伊丹市立幼稚園に在園する園児の世帯(生活保護世帯等)に対して、教材費・行事費等の実費徴収に係る費用の一部を補助する。

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり									
施策コード	2131	施策名	地域ぐるみの子育て支援										
施策の目的 (目指すべき姿)	子育て中の親子が地域の一員として地域の見守りや支えあいのなかで成長していくよう、地域における子育て支援の担い手の育成やネットワークの構築を支援し、地域住民が主体となった子育て支援活動が進められる環境を整備する。												
目的	成果指標												
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)							
① 子育てサークル及び地域子育てバックアップ事業補助団体数(団体)	↑	子育てサークル及び地域子育てバックアップ事業補助団体数の合計	目標		43	43							
			実績	45									
② 地域の子育て環境の整備 ③ 施策に満足している人の割合(%)	↑	'市民意識調査'で「地域の子育て環境の整備施策」に、満足・やや満足と答えた人の割合	目標		28.2	30.2							
			実績										
手段	記号 事務 事業 コード	事務事業名	事業の内容										
創 手 段	213104	青少年街頭補導事業	・学校や関係機関、少年補導委員および地域の青少年育成団体等との連携 ・地域ぐるみの愛護活動の実施										
	213105	青少年健全育成・環境浄化事業	・「白ポスト運動」による有害図書類の回収 ・地域ぐるみの有害環境総点検活動の実施										
	213106	青少年健全育成関係広報啓発事業	①「少年を守る日」の市内広報 ②「センター通信」の発行 ③「愛護活動概要」の作成・配布 ④健全育成用ビデオ等による啓発 ⑤啓発用チラシ・パンフレット・ポスターの作成・配布等										

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育		
施策コード	2211	施策名	自ら学び自ら考える力を育む教育の推進			
施策の目的 (目指すべき姿)	一人ひとりの子どもが、基礎的な知識や技能に加え、自ら考え、判断し行動する力、すなわち確かな学力を身に付ける。					
成果指標						
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
① 全国学力調査の全国平均を100とした時の小学校の指数	↑	学力調査において実施した教科の平均正答率と全国平均正答率の比較(伊丹市平均正答率÷全国平均正答率×100)	目標		101	102.5
			実績	100		
② 全国学力調査の全国平均を100とした時の中学校の指数	↑	学力調査において実施した教科の平均正答率と全国平均正答率の比較(伊丹市平均正答率÷全国平均正答率×100)	目標		101	102.5
			実績	100		
手段	事務事業コード	事務事業名	事業の内容			
創	221101	子どもサポーター派遣事業	将来教員をめざしている市内在住の大学生等をサポーターとして登録し、幼・小・中・特別支援学校において、学習指導の補助、学習相談、不登校児童・生徒の支援等を行う。			
	221102	小中学校自由研究推進事業	児童生徒が、指導員のもと、自分で決めた課題を年間を通して継続的に、また夏休みを利用して集中的に観察、実験、調査等を行い、その結果を自由研究発表会で報告し、レポートにまとめたものを各校に配布する。			
創	221104	伊丹市家庭学習の手引き活用事業	・児童生徒の基礎学力定着に向け、学校と家庭が協力して規則正しい生活習慣、学習習慣を身に付けさせていくために、子どもの発達段階に応じ年代別啓発リーフレット「伊丹市家庭学習の手引き」を作成・配付し、学力向上のために活用する。			
	221107	学習到達度調査事業	・小学校6年生の児童及び中学校3年生の生徒を対象に、学習到達度調査を実施する。 ・全国学力・学習状況調査で実施されない教科について調査を行う。			
手段	221108	理科教育設備等の整備	理科教育振興法に基づき小学校・中学校の理科教育物品を購入・整備する。			
	◎ 221110	放課後学習推進事業	市内小中学校全校において、教員免許を有する人材等の活用による放課後学習を実施し、学習に課題を抱える個別指導が必要な児童生徒や、学習の定着が不十分な児童生徒の学習指導を行う。			
創	◎ 221113	土曜学習事業	市内全小・中学校区で、土曜日等(日、祝日、学校休業日)に補充学習やキャリア教育等の学習機会を提供する。			
	◎ 221114	学力向上支援教員配置事業	全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、教員免許を有する人材を配置し、少人数やTT指導、補充学習等を行う			
	221115	教科用図書選定委員会	選定委員会及び調査委員会を設置し、採択事務を行う。			

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育
施策コード	2212	施策名	新たな社会への対応力を育む教育の推進

施策の目的 (目指すべき姿)		成果指標				
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
				目標	実績	目標
	① ICTを活用した授業時間数 (1クラスあたり月平均)(時間)	↑	ICTを活用した授業時間数(1クラスあたり月平均)(時間)	20	22	
	② 授業中にICTを効果的に活用できる教員の割合(%)	↑	授業中にICTを効果的に活用できる教員の割合	87	89	
	③ 中学3年生英語力(英検3級程度)(%)	↑	中学3年生において、英検3級程度の力が認められる生徒の割合	45	60	
				実績	-	

記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容
手段	221206	情報教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> システム管理担当者研修(年4回) システム管理担当者による校内研修の実施 パソコン、電子黒板、実物投影機、デジタル教科書等のICT活用研修ならびに授業実践 伊丹市教育ネットワークシステム「Data Web」を活用した授業実践 情報モラルに関する研修会の実施 校務支援システムの活用(通知表・指導要録・成績処理等) 校務の効率化の推進 情報セキュリティ研修の実施 資産管理システムの活用
	◇ 221207	情報教育環境の整備(幼稚園)	<ul style="list-style-type: none"> 資産管理システムの活用によるセキュリティ強化及び効率的な遠隔支援の実施 総合教育センターのサーバ・ネットワーク機器更新による各園のセキュリティ機能の強化
	◇ 221208	情報教育環境の整備(小学校)	<ul style="list-style-type: none"> 資産管理システムの活用によるセキュリティ強化及び効率的な遠隔支援の実施 総合教育センターのサーバ・ネットワーク機器更新による各学校のセキュリティ機能の強化
	◇ 221209	情報教育環境の整備(中学校)	<ul style="list-style-type: none"> 資産管理システムの活用によるセキュリティ強化及び効率的な遠隔支援の実施 総合教育センターのサーバ・ネットワーク機器更新による各学校のセキュリティ機能の強化
	◇ 221212	情報教育環境の整備(特別支援学校)	<ul style="list-style-type: none"> 資産管理システムの活用によるセキュリティ強化及び効率的な遠隔支援の実施 総合教育センターのサーバ・ネットワーク機器更新によるセキュリティ機能の強化
	● 221213	グローバル化に向けた英語教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 外国人英語指導助手(ALT)の小・中・高等学校派遣 伊丹市中学校英語暗唱・スピーチ大会の実施 小学校英語指導補助員派遣 英語教育小中連携の推進 中学校英検特別講座の実施
	221214	英語外部試験受験料等助成事業	小学校教員、中・高等学校教員が英語検定、TOEIC公開テスト、TOEFL iBTを受験する際の受験料等を助成する。

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育
施策コード	2213	施策名	伊丹ならではの特色ある教育の推進

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	成果指標					
		指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
① 小学校の児童一人あたりの1ヶ月読書冊数(冊)	↑	小学校の児童が一人あたり1ヶ月に読書した冊数(全国学校図書館協議会の調査において、過去5年間の平均が10.62冊であるため、伊丹市は12冊を目標値に設定した)	目標		12	12	
② 中学校の生徒一人あたりの1ヶ月読書冊数(冊)	↑	中学校の生徒が一人あたり1ヶ月に読書した冊数(全国学校図書館協議会の調査において、過去5年間の平均が3.9冊であるため、伊丹市は4.0冊を目標値に設定した)	実績	12.78			

手段	記号 事務 事業 コード	事務事業名	事業の内容		
			①	②	③
手創	221303	学校図書館活性化事業<名称変更前:「読書教育推進事業」>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書の配置と活用 ・小学校:1日5時間200冊 ・中学校:1日5時間100冊 ・学校図書館の整備及び読み聞かせ等の読書教育の推進 ・貸出・返却及びレファレンス昨日の充実 ・学校と初等を活用した授業による教科指導の充実 		
創	◎ 221305	伊丹の教育アピール推進事業	伊丹の教育を新たな都市ブランドとして広くPRする		
	● 221306	学校図書館データベース化事業	学校図書館の更なる活性化に向け図書をデータベース化する		

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育										
施策コード	2214	施策名	魅力ある市立高等学校づくり											
施策の目的 (目指すべき姿)		<ul style="list-style-type: none"> ・知・徳・体の調和を図り、主体的な市民として社会に貢献できる資質を養う。 ・国際化・情報化等の社会の変化に対応できる「シティズンシップ」を備えた個性豊かな人材を育成する。 ・市立伊丹高校を、進学したい、進学させたい学校にする。 												
成果指標														
目的	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等										
	① 国公立大学合格者数(人)		↑	国公立大学合格者数(実数)										
手段	② 英検準2級程度学力保持者数(人)		↑	市立伊丹高等学校の第3学年における実用英語技能検定準2級取得者及び準2級程度の学力を有する者の数										
	③ 全商1級資格取得率(%)		↑	実用的な技能を習得することにより、生徒の進路実現が達成する可能性が高くなり、学校の魅力にもつながる。(3年各種検定1級取得実人数÷3年商業科生徒数)										
記号 事務事業コード		事務事業名		事業の内容										
創	◎ 221401 市立伊丹高校活性化事業		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後特別学習の推進。難関大学へ進学したいチャレンジ精神旺盛で意欲ある生徒を対象に、外部講師を招聘して、個々に応じた適切な進路指導を行いながら著しい学力の伸長を図るために講座を開設し、志望大学への進路実現を達成する 											
	221402 市立伊丹高校特色化事業 (土曜公開講座)		<ul style="list-style-type: none"> 講師に外部人材を登用。全学年の生徒対象に習熟度別講座として、6月～2月の土曜日に実施していた。平成25年度より、内容をビジネス・教養に特化し、商業科生徒・PTA他、市民向け公開講座にリニューアル 											
手段	221407 市立伊丹高校管理運営事業		<ul style="list-style-type: none"> ・市立伊丹高校の予算及び決算に関すること ・入学事務に関すること ・教材備品等の購入及び整備に関すること 											
	◎ 221410 交流教育プロジェクト		<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を充実するため、地域商店等で連携した取組を実施する。 											
創	◇ 221411 市立伊丹高校の整備・充実		<ul style="list-style-type: none"> 校舎等の老朽化した設備等の改修や、教育内容の多様化に対応する整備など、緊急度の高いものから順次工事を行う 											

政策目標		未来を担う人が育つまち		施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育																																														
施策コード		2215	施策名	特別支援教育の推進																																															
施策の目的 (目指すべき姿)		(改訂版)「今後の特別支援教育のあり方について(基本方針)」に基づいた施策の実施を通して、障がいのある児童生徒に対して適切な指導、支援を行うことができる。さらに、児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服する。																																																	
成果指標																																																			
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等		H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)																																												
① 個別の支援計画『ステップ★ぐん』を作成している人数の割合 (%)	↑	個別の支援計画の作成が必要な人数のうち、作成している人数の割合(平成27年度実績値87.6を基準に目標値を設定)		目標		88	90																																												
				実績	82.6																																														
② 特別支援教育に関する研修の参加者数(人)	↑	特別支援教育に関する研修に参加した教師の人数		目標		920	920																																												
				実績	82.5																																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">記号</th> <th style="width: 10%;">事務事業コード</th> <th style="width: 40%;">事務事業名</th> <th style="width: 40%;">事業の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">創</td><td>221501</td><td>伊丹市特別支援教育審議会事業<名称変更前:「伊丹市特別支援ネットワーク事業」></td><td>・本市における特別支援教育の在り方に関する協議 ・本市における特別支援教育推進のためのネットワークの整備と関係機関との連絡調整 ・個別の教育支援計画の作成及び活用の在り方の検証と提言</td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">創</td><td>221502</td><td>なかよしキャンプ事業</td><td>障がいのある児童生徒が家庭から離れて、仲間と寝食を共にする生活を行う。自然の中で水遊びやキャンドルサービスなどを楽しむ機会を設ける。</td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">手 段</td><td>221504</td><td>障害児の自然体験活動推進事業</td><td>伊丹特別支援学校の小学部4年生～高等部3年生を対象に1泊2日の宿泊行事を行う。</td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">創</td><td>221505</td><td>伊丹市教育支援委員会事務<名称変更前:「就学指導委員会事務」></td><td>適正な就学(園)に向けた指導及び診断等に関する事。教育相談・社会啓発に関する事。研究調査に関する事。</td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">創</td><td>221506</td><td>特別支援教育支援員配置事業</td><td>・児童生徒の学習活動の支援 ・対象児童生徒と他の児童生徒とのコミュニケーションを図るための支援 ・通常学級における特別支援教育に関する事</td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">創</td><td>221509</td><td>特別支援学校管理運営事業</td><td>・学校予算編成及び決算に関する事。 ・教材校具等の購入及び整備に関する事。 ・学校執行支払いに関する事。</td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">創</td><td>221510</td><td>特別支援教育巡回相談員派遣事業</td><td>・巡回相談、巡回相談調整会議の実施(市教育委員会、伊丹特別支援学校、県立こやの里特別支援学校、学校生活支援教員)</td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">創</td><td>221511</td><td>特別支援教育ことばの支援教室事業</td><td>・言語聴覚士がによる「ことばの支援教室」(年70回)</td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">△</td><td>221512</td><td>特別支援学校通学バスの更新</td><td>特別支援学校通学バスを計画的に更新する</td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">創</td><td>221514</td><td>伊丹特別支援学校活性化事業(221503・221507を統合)</td><td>各方面の指導者のもと、実践的な研修を行う。 理学療法士等が特別支援学校教員に対し指導方法等に関する医学的側面からの助言を行う。</td></tr> </tbody> </table>								記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容	創	221501	伊丹市特別支援教育審議会事業<名称変更前:「伊丹市特別支援ネットワーク事業」>	・本市における特別支援教育の在り方に関する協議 ・本市における特別支援教育推進のためのネットワークの整備と関係機関との連絡調整 ・個別の教育支援計画の作成及び活用の在り方の検証と提言	創	221502	なかよしキャンプ事業	障がいのある児童生徒が家庭から離れて、仲間と寝食を共にする生活を行う。自然の中で水遊びやキャンドルサービスなどを楽しむ機会を設ける。	手 段	221504	障害児の自然体験活動推進事業	伊丹特別支援学校の小学部4年生～高等部3年生を対象に1泊2日の宿泊行事を行う。	創	221505	伊丹市教育支援委員会事務<名称変更前:「就学指導委員会事務」>	適正な就学(園)に向けた指導及び診断等に関する事。教育相談・社会啓発に関する事。研究調査に関する事。	創	221506	特別支援教育支援員配置事業	・児童生徒の学習活動の支援 ・対象児童生徒と他の児童生徒とのコミュニケーションを図るための支援 ・通常学級における特別支援教育に関する事	創	221509	特別支援学校管理運営事業	・学校予算編成及び決算に関する事。 ・教材校具等の購入及び整備に関する事。 ・学校執行支払いに関する事。	創	221510	特別支援教育巡回相談員派遣事業	・巡回相談、巡回相談調整会議の実施(市教育委員会、伊丹特別支援学校、県立こやの里特別支援学校、学校生活支援教員)	創	221511	特別支援教育ことばの支援教室事業	・言語聴覚士がによる「ことばの支援教室」(年70回)	△	221512	特別支援学校通学バスの更新	特別支援学校通学バスを計画的に更新する	創	221514	伊丹特別支援学校活性化事業(221503・221507を統合)	各方面の指導者のもと、実践的な研修を行う。 理学療法士等が特別支援学校教員に対し指導方法等に関する医学的側面からの助言を行う。
記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容																																																
創	221501	伊丹市特別支援教育審議会事業<名称変更前:「伊丹市特別支援ネットワーク事業」>	・本市における特別支援教育の在り方に関する協議 ・本市における特別支援教育推進のためのネットワークの整備と関係機関との連絡調整 ・個別の教育支援計画の作成及び活用の在り方の検証と提言																																																
創	221502	なかよしキャンプ事業	障がいのある児童生徒が家庭から離れて、仲間と寝食を共にする生活を行う。自然の中で水遊びやキャンドルサービスなどを楽しむ機会を設ける。																																																
手 段	221504	障害児の自然体験活動推進事業	伊丹特別支援学校の小学部4年生～高等部3年生を対象に1泊2日の宿泊行事を行う。																																																
創	221505	伊丹市教育支援委員会事務<名称変更前:「就学指導委員会事務」>	適正な就学(園)に向けた指導及び診断等に関する事。教育相談・社会啓発に関する事。研究調査に関する事。																																																
創	221506	特別支援教育支援員配置事業	・児童生徒の学習活動の支援 ・対象児童生徒と他の児童生徒とのコミュニケーションを図るための支援 ・通常学級における特別支援教育に関する事																																																
創	221509	特別支援学校管理運営事業	・学校予算編成及び決算に関する事。 ・教材校具等の購入及び整備に関する事。 ・学校執行支払いに関する事。																																																
創	221510	特別支援教育巡回相談員派遣事業	・巡回相談、巡回相談調整会議の実施(市教育委員会、伊丹特別支援学校、県立こやの里特別支援学校、学校生活支援教員)																																																
創	221511	特別支援教育ことばの支援教室事業	・言語聴覚士がによる「ことばの支援教室」(年70回)																																																
△	221512	特別支援学校通学バスの更新	特別支援学校通学バスを計画的に更新する																																																
創	221514	伊丹特別支援学校活性化事業(221503・221507を統合)	各方面の指導者のもと、実践的な研修を行う。 理学療法士等が特別支援学校教員に対し指導方法等に関する医学的側面からの助言を行う。																																																

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育					
施策コード	2221	施策名	豊かな心を育む道徳教育、情操教育の推進						
目的	施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・心に響く授業や様々な体験活動、芸術文化活動などの教育活動を行う。 ・児童生徒が、社会性、善悪の判断力、規範意識などの力を培う。 ・すべての教育活動において「心の教育」を推進し、命の大切さ、相手を思いやる心、自尊感情を育む。 							
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)			
	自分にはよいところがある ①と肯定的に回答した児童生 徒の割合(%)	↑	全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙	目標 74	76	実績 74.1			
手段	記号 事務事業コード	事務事業名	事業の内容						
	222102 各種音楽会関係事務		吹奏楽のつどい、中学校交歓音楽会、小学校・特別支援学校連合音楽会、ジュニアバンドフェスティバルを開催する。						
	222103 <名称変更前「いたみっこアート展事業」>	学校園展示物関係事業	市立幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の園児、児童、生徒の平面作品(絵画等)や立体作品を展示する。 ・市内小・特別支援学校5、6年生が家庭科の授業で取り組んだ作品等を発表する。						
	222104 <222105を統合、名称変更前:「環境体験学習」>	小学生の自然体験事業	各学校ごとに、テーマや内容を考え、計画を立て、自然体験活動を行う。(農作物の栽培活動、動植物の観察、天体観察、伝統工芸を学ぶ、オリエンテーリング、カヌー、カッタ体験、登山など、自然の中での活動等)5年生については、4泊5日で県内の野外教育施設で実施する。						
	222106 中学校進路指導委託事業		生徒が目指す進路実現に向けて、学校説明会はもとより、あらゆる機会を通じて進路情報の収集に努め、各校に必要な進路情報を提供する。						
	222107 「トライやる・ウイーク」事業		市内の全中学校2年生が、職場体験活動・農林水産体験活動・福祉ボランティア活動などの体験活動を1週間行う。						
	222108 伊丹市生徒会活性化推進事業		中・特別支援学校の生徒が、次世代をリードするリーダーとしての資質を身に付けるため、自由に自分の考えを発表できる場を確保する。						
	222110 小中学校社会科副読本		各副読本を、毎年、小学校3年生及び中学校1年生に配付する。小学校社会科副読本「のびる伊丹市」は3、4年生、中学校社会科副読本「身近な地域伊丹」は全学年を学習対象とする。隔年ごとに、小中それぞれに編集委員会を組織し、内容について協議し、改訂を行う。						
創	◎ 222111 キャリア教育推進事業<名 称変更前:「中学校進路指導副読本」>		・幼小中連携したキャリア教育モデル地域において、キャリア教育の研究を進める。 ・キャリア学習ノートを作成・活用し、キャリア教育を推進する。 ・教職員の資質向上を図る研修を行う。						
	222113 道徳教育推進事業		市内2中学校区を指定し、各中学校区の課題に合わせた道徳教育及び「副読本」及び「私たちの道徳」を効果的に活用した授業方法の研究・教科化に向けた授業作り、評価等の研究・情報モラルの指導のあり方の研究、成果等の情報発信(公開授業、実践発表等)を行う。また、家庭・地域と連携した取組・家庭における「副読本」等の活用や地域人材の活用を推進する。さらに、小中連携による取組・小中相互の授業参観や合同の授業研究・研修の実施しその成果を他校に周知する。						

政策目標		未来を担う人が育つまち		施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育										
施策コード	2222	施策名	子どもの問題行動への対応												
施策の目的 (目指すべき姿)		学校、家庭、地域、関係機関が連携し、専門性を有する人員などを活用し、いじめや暴力行為・不登校など生徒指導上のあらゆる問題に対して未然防止に努めるとともに、一貫性のある取り組みを推進し、早期発見・早期解決を図る。													
		成果指標													
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等												
	① 小学生不登校児童出現率 (%)	↓	在籍児童数に対する不登校児童の割合(不登校児童数／在籍児童数)												
手段	② 中学生不登校生徒出現率 (%)	↓	在籍生徒数に対する不登校生徒の割合(不登校生徒数／在籍生徒数)												
			H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)										
手段	記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容											
	◎	222201	スクールサポート事業	①各学校の不登校や問題行動等の課題を抱える児童生徒や児童虐待に関する関係機関等からの情報収集や生活面での支援についてのアセスメントを行う。 ②各学校の不登校や問題行動、児童虐待等の課題を抱える児童生徒・保護者・教員に対するケースマネージメントを行う。 ③学校・保護者・関係機関との円滑な連携のための調整・連絡を行う。 ④業務実施のために必要な調整及び報告のための打ち合わせ等を行う。 ⑤各学校における研修会等への指導助言を行う。											
手段	◎	222202	伊丹市いじめ・不登校総合対策推進事業<222205を統合、名称変更前:「学校問題解決支援事業」>	伊丹市いじめ防止等対策審議会により企画等を行い、既存のこどものいじめ問題対策推進事業、学校問題解決支援事業等の活用の充実を図る。不登校などの生徒指導上の課題に対して、学校問題解決支援チームによる迅速な対応を図る。											
	◎	222203	スクールカウンセラー活用事業	・全小中高等学校への配置 ・スクールカウンセラーと教員の連絡会の開催(月1回) ・スクールカウンセラー研修会の開催(年1回) ・校内カウンセリングマインド研修の開催(年2回以上)											
手段	◎	222204	生徒指導委託事業	学校が、家庭、地域並びに関係機関と緊密な連携のもと問題行動等の早期発見、早期対応に努めるとともに未然防止の方策等を研究し、教員の指導力の向上上、教育相談体制の整備を進める。											
	◎	222206	ピアサポートプログラム(冒険教育)推進事業	・冒険教育施設の充実と活用 ・指導者養成研修会の実施(年3回) ・室内型冒険教育プログラム研修会の実施											
手段	◎	222207	不登校児童生徒の学校復帰支援事業	・各学校と適応教室との連絡会の充実(月1回) ・「不登校を考える親のつどい」の開催(年2回) ・メンタルフレンドによる家庭訪問(週1回) ・不登校問題に関する研修会の開催(年1回)											
	◎	222208	教育相談事業	・相談員による「継続相談(こころ)」(随時) ・相談員による「特別支援教育相談(発達)」(随時) ・精神科医による「医療相談」(年10回) ・発達を専門とする小児科医による「医療発達相談」(年10回)等											

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育																															
施策コード	2223	施策名	子どもの健やかな体づくりと部活動の推進																															
施策の目的 (目指すべき姿)		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動に親しむ資質や能力と個に応じた体力・運動能力の向上。 ・いきいきとした部活動の推進と柔軟な運営。 ・心と体の健康を育み、望ましい生活習慣を確立する。 																																
		<p style="text-align: center;">成果指標</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">目的</th> <th rowspan="2">指標名(単位)</th> <th rowspan="2">性質</th> <th rowspan="2">指標の意味・算式等</th> <th colspan="3">H26 (基準年度)</th> <th>H28</th> <th>H32 (最終)</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 全国体力調査の全国平均を100とした時の小学校の指数</td> <td>↑</td> <td>↑</td> <td>全国体力調査において、全国平均を100として、どれくらい向上しているのかの指数</td> <td>98</td> <td>102</td> <td>93.5</td> <td>101</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>② 全国体力調査の全国平均を100とした時の中学校の指数</td> <td>↑</td> <td>↑</td> <td>全国体力調査において、全国平均を100として、どれくらい向上しているのかの指数</td> <td>102</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)			H28	H32 (最終)	目標	実績	目標	実績	① 全国体力調査の全国平均を100とした時の小学校の指数	↑	↑	全国体力調査において、全国平均を100として、どれくらい向上しているのかの指数	98	102	93.5	101	103	② 全国体力調査の全国平均を100とした時の中学校の指数	↑	↑	全国体力調査において、全国平均を100として、どれくらい向上しているのかの指数	102				
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等					H26 (基準年度)			H28	H32 (最終)																						
				目標	実績	目標	実績																											
① 全国体力調査の全国平均を100とした時の小学校の指数	↑	↑	全国体力調査において、全国平均を100として、どれくらい向上しているのかの指数	98	102	93.5	101	103																										
② 全国体力調査の全国平均を100とした時の中学校の指数	↑	↑	全国体力調査において、全国平均を100として、どれくらい向上しているのかの指数	102																														
記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容																															
創	222303	中学校運動部活動外部指導者派遣事業	市立中学校において高度な技術を要する種目で休部もしくは廃部となっている運動クラブに対する外部指導者の配置。																															
創	222304	県大会、近畿大会助成制度事務	伊丹市立中学校、高等学校の運動部活動として、兵庫県大会、近畿大会に出場する者に対する助成金の交付。																															
創	222305	小学校水泳交流会	市内17小学校の水泳クラブなどに所属している児童による、水泳の練習成果を発表する場としての水泳交流会の実施。																															
創	222306	中学校総合体育大会	伊丹市中学校総合体育大会、伊丹市中学校新人大会の開催。 阪神中学校総合体育大会、阪神中学校新人大会の開催。																															
創	222307	中学校連合体育大会	市内中学校1・2年生がスポーツセンター陸上競技場に一堂に会し、演技、競技を実施し、交流する場としての中学校連合体育大会の実施。																															
手創	222308	小学校連合体育大会	市内17小学校、伊丹特別支援学校、伊丹朝鮮初級学校による演技・競技を通じた交流を深める場としての小学校連合体育大会の実施。																															
段創	222309	部活動助成制度事務	市外で開催される大会及び合宿等に生徒を引率する学校教職員への旅費助成。																															
創	222310	部活動支援事業(名称変更前「部活動学校体育全般事務」)	運動部活動等の大会におけるスポーツセンター使用料及び中学校体育連盟負担金。																															
創	222311	健康教育推進事業(名称変更前「学校保健指導助言事務」)	健康教育を推進するため専門家の招聘。 関係部局職員による学校保健推進に向けた授業の実施。 保護者、教職員等向けの研修会などの開催。																															
創	◎ 222313	体力・健康づくり推進事業 <222302を統合>	・伊丹市体力向上推進委員会の開催 ・体力、健康づくりに関する研修会の実施及び活動の推進 ・研究指定校による研究推進 ・スポーツバッジの授与																															
創	◎ 222314	体力向上推進員派遣事業 (名称変更前「(仮称)幼児期・学童期における運動遊び推進事業」)	体力向上推進員が幼稚園・小学校等を巡回し、保育や体育授業のサポートを行うとともに、授業力向上のための研修会や講演会を計画的に実施する。																															

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育																																		
施策コード	2224	施策名	健全な食生活の推進																																			
施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が健全で豊かな食生活を送れる自治体を目指す。 ・食の自己管理能力の醸成。 ・幼児期からの食育普及啓発の取り組み。 ・健全な食生活の普及啓発への取り組み。 ・食を通した健康づくりの実現。 																																					
目的	<p style="text-align: center;">成果指標</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名(単位)</th> <th rowspan="2">性質</th> <th rowspan="2">指標の意味・算式等</th> <th>H26 (基準年度)</th> <th>H28</th> <th>H32 (最終)</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① おやこ料理教室の参加人数</td> <td>↑</td> <td>毎年6小学校を会場に開催するおやこ料理教室の参加人数(20家庭×2人×6校)</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>② 小学校低学年対象の食育に関する指導の年間回数</td> <td>↑</td> <td>「給食に関する指導」「食に関する指導」の指導の年間実施回数</td> <td>208</td> <td>244</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>③ 地産地消の推進</td> <td>↑</td> <td>学校給食における兵庫県産利用割合(食材数ベース)</td> <td>240</td> <td>22</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td>20.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)	目標	実績	目標	① おやこ料理教室の参加人数	↑	毎年6小学校を会場に開催するおやこ料理教室の参加人数(20家庭×2人×6校)	240	240	240	② 小学校低学年対象の食育に関する指導の年間回数	↑	「給食に関する指導」「食に関する指導」の指導の年間実施回数	208	244	232	③ 地産地消の推進	↑	学校給食における兵庫県産利用割合(食材数ベース)	240	22	30				実績	20.8	
指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)																																	
			目標	実績	目標																																	
① おやこ料理教室の参加人数	↑	毎年6小学校を会場に開催するおやこ料理教室の参加人数(20家庭×2人×6校)	240	240	240																																	
② 小学校低学年対象の食育に関する指導の年間回数	↑	「給食に関する指導」「食に関する指導」の指導の年間実施回数	208	244	232																																	
③ 地産地消の推進	↑	学校給食における兵庫県産利用割合(食材数ベース)	240	22	30																																	
			実績	20.8																																		
記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容																																			
創	222401	健全な食生活推進事業	栄養教諭等や調理員を活用した指導、研修。 ①おやこ料理教室・食に関する指導(2年生)・給食指導(1年生) ②健全な食生活や学童期からの食育の在り方についての研究。																																			
手創	◇ 222402	給食センター施設設備整備等	・児童生徒への安全安心な学校給食提供のため、計画的に調理機材等の更新を行う。																																			
段創	◆ 222404	中学校給食施設整備事業	・中学生の心身の発達を促すため、市内中学校に栄養バランスのとれた、温かくおいしい、安全で安心できる給食を提供できる学校給食センターを整備する。																																			
創	222405	中学校給食荷受場等整備事業	「伊丹市中学校給食基本計画」に基づき、市内全8中学校でセンター方式による完全給食を一斉実施するにあたり、各中学校に給食荷受場等の設計・整備を行う。																																			
	222406	学校給食費管理徴収等事業<名称変更前「学校給食管理システム導入事業」>	学校給食費管理システムの保守管理と公会計化に伴う規定整備、管理徴収を行う。																																			

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育										
施策コード	2231	施策名	学校園情報の積極的な発信と学校園運営への市民参画											
施策の目的 (目指すべき姿)		<ul style="list-style-type: none"> ・教育情報の積極的な発信により、信頼される開かれた学校園を目指す。 ・学校支援地域本部事業を推進し、ボランティアによる学校支援を充実することで、地域ぐるみで学校園の活性化を図る。 ・「学校運営協議会」の設置により、市民参画による学校運営を実現する。 												
成果指標														
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)								
① 教育関連情報提供HPのアクセス数(件)	↑	教育委員会ホームページで提供した教育情報のアクセス件数	目標		156,000	158,000								
			実績	130,455										
			目標		1,420	1,460								
② 学校支援地域本部事業におけるボランティア活動回数(回)	↑	学校支援地域本部事業におけるボランティア活動回数(回)	実績	1,409										
			目標		4	26								
			実績	0										
手段	記号 事務事業コード	事務事業名	事業の内容											
創	223101	町の先生制度	学校園の実態に応じて、各学校園が主体的に編成する教育課程に「町の先生」制度を位置づけ、三領域(教科、道徳、特別活動)及び総合的な学習の時間等において、多面的に教育活動を支援する。											
	223102	教育広報紙の発行	「すくすくぐんぐん伊丹っ子」2回/年、「教育いたみ」1回/年を発行する。											
手 段	223103	表彰関係事務	・教育委員会賞は文化・スポーツの振興・発展に資すると認められた児童・生徒・個人・団体を顕彰する。 ・ふれあい教育賞はボランティア活動を一定期間・継続的に実施している個人・団体を顕彰する。											
	◎ 223104	伊丹市学校支援地域本部事業	ボランティアが、学校の状況に応じて学校の教育活動の支援を行う											
	223106	学校評価推進事業	・各学校園が実効性のある学校評価を行えるよう支援する。 ・学校評価に関する研修会を実施する。											
創	● 223107	コミュニティ・スクール設置事業	地域に開かれた学校づくりのため、市立小中高等学校すべてを地域運営学校に指定する											

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育
施策コード	2232	施策名	安全・安心な学校園づくり

目的 (目指すべき姿)	施策の目的 ・園児・児童・生徒の危機対応能力の育成。 ・心肺蘇生講習会を通した危機管理能力の向上及び生命の大切さを実感させる学びの推進。 ・園児・児童・生徒が安全安心に学校園生活を送ることができる施設環境整備。														
	成果指標														
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等												
	① 警察と連携した防犯訓練の実施小学校数(校)	↑	県警ホットラインを活用した防犯訓練の実施小学校数(校)	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td><td>H26 (基準年度)</td><td>H28</td><td>H32 (最終)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td></td><td>17</td><td>17</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>17</td><td></td><td></td></tr> </table>		H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)	目標		17	17	実績	17	
	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)												
目標		17	17												
実績	17														
目的	② 心肺蘇生講習会受講者数(人)	↑	毎年10校を会場に開催する教員向け講習会の受講者数(人)	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td><td>目標</td><td>545</td><td>565</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>541</td><td></td><td></td></tr> </table>		目標	545	565	実績	541					
	目標	545	565												
実績	541														

記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容
	223201	中学校管理運営事業	・学校予算編成及び決算に関すること。 ・教材校具等の購入及び整備に関すること。 ・学校執行支払いに関すること。
	223202	小学校管理運営事業	・学校予算編成及び決算に関すること。 ・教材校具等の購入及び整備に関すること。 ・学校執行支払いに関すること。
	223203	学校施設の修繕事業	校舎等の防水、内外装、給排水設備、電気設備等、主に緊急を要する施設の改修、維持修繕
◎	223204	学校施設の定期点検等事業	建築基準法他、関係諸法で規定されたものをはじめ、施設の適切な維持管理に必要とされる各種点検・調査を実施(小・中・高・特別支援学校 計27校)
創	223205	子どもの安全対策推進事業	アメリカで開発された、子どもへの暴力防止プログラムであるCAPプログラムを市内全小学校3年生を対象に実施。
創	223206	学校園防犯訓練・防災教育	各学校で防災対応マニュアル及び防犯対応マニュアルに基づき、防犯訓練及び防災訓練を計画的に実施。
創	□ 223207	学校施設の大規模改造等事業	・校舎等の老朽化した外壁、防水、内装、給排水設備、電気設備の改修 ・教育内容の多様化に対応する校舎等の改造
	□ 223208	学校施設の空調設備改修事業	老朽化した空調設備機器の更新
	□ 223209	学校施設のアスベスト対策事業	工事・修繕等の実施に支障となる対策済み吹き付けアスベストの除去工事
	□ 223211	学校施設の管理工事事業	・校舎等の老朽化した外壁、防水、内装、給排水設備、電気設備の改修 ・教育内容の多様化に対応する校舎等改造 (大規模改造事業対象外の事業)
	223212	教職員対象心肺蘇生法講習会	教職員を対象にした心肺蘇生法講習会の実施。 普通救命講習会の年1回以上の実施。 応急手当普及員講習会(3日間)と応急手当普及員再講習(3時間)の実施。
	□ 223213	有岡小学校増築事業	有岡小学校の普通教室および特別教室等の不足への対応を計画し実施する
	□ 223214	学校施設の防災機能強化事業(外壁改修)	外壁モルタルや窓ガラスの落下防止措置等、非構造部材の耐震化工事を実施する

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育		
施策コード	2233	施策名	教職員の意識改革と資質の向上			
施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の専門的知識の習得や実践的指導力、社会の変化に対応した指導力の向上を図る。 教職員が学ぶべきことを学べる環境を整備し、自主研修を促進し、教員の指導力・資質の向上を図る。 					
目的	成果指標					
	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等			
目的	① 研修受講者満足度(%)	↑ 教職員のための各種研修参加者満足度の平均	目標	H26 (基準年度)	97	97
	② 授業力向上(カリキュラム) 支援センター自主研修利用者数(人)	↑ 年間を通しての自主研修利用者の延べ人数	実績	96		
	③ 若手教員対象研修会への 参加人数(人)	↑ 若手教員を対象とする各種講座および研修会への参 加者の総数	目標	1,500	1,500	
			実績	1,798		
			目標	1,000	1,000	
			実績	1,157		
手段	事務事業コード	事務事業名	事業の内容			
手段	223301	学校力アップ事業	各学校における研究・研修活動の充実(発表校・発表準備校)のために助成を行い、特色ある学校づくりや校内での計画的・継続的な研究体制を確立するための支援をする。			
	223302	教職員研修関係事業(名 称変更前「管理職研修事 務」、223303を統合)	市内校長会及び教頭会において、様々な教育課題にふさわしい講師を招聘し研修を実施する。人権教育担当者及び管理職対象に年1回、人権教育研修会を実施する。さらに、各中学校ブロックごとに中学校区内の小学校と連携し、合同の人権教育研修会を実施する。各教科において教材研究や研究授業等において講師を招聘し、研究を推進する。			
	223304	初任者・経年研修事務	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用教員に対する研修(年間3回) 若手教員や教職経験者に対する、授業力や教育力を高める研修 			
	223306	教職員のための各種講座 及び研修・研究活動< 221205を統合>	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修の実施 「トップリーダー研修」「経年研修」「教科等研修」「専門研修」「教育課題研修」「啓発研修」 			
	223307	授業力向上(カリキュラム) 支援センター	<ul style="list-style-type: none"> コンサルティング機能の充実(訪問指導) ワーキングスペース提供 コンテンツ提供 ミニ講座・グループ研究の開催 			
	223311	総合教育センター管理事 業(223105を統合)	総合教育センター各種事業を行うための施設管理			

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	ライフステージごとに学び活躍する人づくり
施策コード	2311	施策名	市民の主体的な学習や活動の支援

目的	指標名(単位)	性質	成果指標		
			H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
① 生涯学習ボランティア登録者数(人)	↑	生涯学習に関するボランティアバンクの登録者や、事業の企画やボランティア活動を実施する団体の会員の合計人数	目標 2,390	2,430	
② 講座参加者数(人)(公民館・ラスタ・きらら)	↑	講座参加者数	目標 53,200	53,600	
			実績 52,100		

手段	記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容
	231101	生涯学習ボランティア活動の推進		①ボランティア活動に関する学習機会の提供 ②ボランティア活動の場の提供
	231103	公民館事業推進委員会活動事業		①市民講座の企画・運営 ②子ども対象事業の企画・運営 ③グループ活動の支援・育成
	231104	公民館グループ活動支援事業		①公民館で活動するグループの活性化支援 ②「伊丹市立中央公民館登録団体連絡協議会」の支援
創	231105	講座等生涯学習活動支援事業		多様な社会的課題に対応した市民講座等の開催
	231106	市展事業		「洋画」「日本画」「写真」「書」「デザイン・彫塑・工芸」の各部門の作品を公募し、審査の結果、入選・入賞した作品を展示する。

政策目標	未来を担う人が育つまち		施策目標	ライフステージごとに学び活躍する人づくり										
施策コード	2312	施策名	社会教育施設等の効果的活用											
施策の目的 (目指すべき姿)		<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設、大学、企業等との連携による新たな事業展開を図る。 ・効果的な情報提供により社会教育施設での生涯学習活動を支援する。 												
成果指標														
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等											
				H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)								
① ホームページのアクセス数 (件数)	↑ 市ホームページの生涯学習部ページビュー数		目標	219,000	223,000									
			実績	288,405										
② 他施設・他館・企業との連携事業(事業数)	↑ 他施設・他館・企業との連携事業(両主催事業)		目標	60	70									
			実績	80										
手段	事務事業コード	事務事業名	事業の内容											
	231202 生涯学習センター管理運営委託事業		<ul style="list-style-type: none"> ・文化・実技講座、展示事業の開設 ・コンサート、映画会など芸術鑑賞の機会の提供 ・市民の文化・学習活動等に関する情報資料の収集及び提供並びに相談事業、関係団体の育成 ・フィットネス事業の実施 											
	231203 北部学習センター管理運営委託事業		<ul style="list-style-type: none"> ・文化・実技講座等の開設 ・図書館、児童館機能、学習機能を有する複合施設の特質を生かした多機能、多目的に利用できる施設づくり ・市民の文化・学習活動等に関する情報資料の収集及び提供並びに相談事業、関係団体の育成 ・児童の健全な育成に必要な事業の実施 											
	231204 博物館管理運営事業		<ul style="list-style-type: none"> ①博物館の利用者が、快適で安全な環境で見学・学習できるよう保守点検、清掃、警備等を実施。 ②開館42年が経過し施設や設備が老朽化。不具合が生じ支障ある設備の修繕実施。 											
	△ 231206 公民館の施設整備		老朽化した設備の改修。											
	□ 231207 生涯学習センター施設整備		経年劣化した高圧ケーブルの更新											
	△ 231209 博物館の改修・修繕		老朽化した設備等の改修・整備を保全計画を基本とし、緊急度の順に優先順位をつけながら改修工事を行う。											
	231213 公民館管理運営事業		市民の交流の場、学びの場、創造の場として、グループ活動、学習成果発表の場を提供する。											
	231214 視聴覚ライブラリー運営事業		視聴覚機材および教材の貸出											
	231216 図書館本館・西分室管理運営事業<231215を統合・名称変更前「図書館本館管理運営事業」>	図書館本館・西分室管理運営事業	図書館本館・分室の管理運営											
	231217 図書館南分館運営事業		図書館南分館の管理運営											
	231218 図書館北分館運営事業		図書館北分館の管理運営											
	□ 231219 北部学習センター施設整備		防犯カメラシステムの更新											
	231220 図書館神津分館運営事業		図書館神津分館の管理運営											
	231221 図書館コンピューターシステムの更新		図書館コンピューターシステムを更新する											

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	ライフステージごとに学び活躍する人づくり
施策コード	2313	施策名	伊丹の特色を活かした学びの創出

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	成果指標					
		指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
	① 図書館の利用者数(人)	↑	市内図書館全館来館者数	目標	854,000	866,500	
				実績	834,620		
	② 図書館総蔵書数(千冊)	↑	図書館総蔵書数	目標	599	641	
				実績	582		
	③ 地域歴史文化講座等の参加者数(人)	↑	地域歴史文化に関する各種講座やボランティア活動の参加者数	目標	8,100	8,500	
				実績	8,405		

手段	記号 事務 事業 コード	事務事業名	事業の内容
		231305 図書館本館活動事業(図書の充実・交流事業を除く)	図書館本館「ことば蔵」の利用者サービス事業
		231306 ことば蔵交流事業	図書館本館「ことば蔵」での交流事業
		231308 図書館図書充実(本館及び西分室、神津分館)	図書館資料の購入
		231309 図書館図書充実(南・北分館)	図書館資料の購入
	◎	231312 博物館の整備・充実	①歴史資料を複製する。 ②市域の歴史とくらしに関する資料を購入する。
		231313 「ことば蔵」の歴史・文化情報発信事業	①市民向けの伊丹酒に関する古文書講座を博物館、図書館、伊丹酒造組合の連携の実施。 ②清酒発祥の地、ふるさと伊丹の地域歴史文化の学びを創出。 ③「ことば蔵」の歴史・文化情報発信事業として取り組む。

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	ライフステージごとに学び活躍する人づくり
施策コード	2321	施策名	生涯スポーツの環境づくり

施策の目的 (目指すべき姿)		「新伊丹市生涯スポーツ振興基本計画」に基づき、生涯スポーツ社会の確立に向けて、心身ともに調和のとれた人づくりに努める。				
目的	指標名(単位)	性質	成果指標			
			指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
① スポーツクラブ21会員数 (人)	↑ 市内17校区のスポーツクラブ21会員数合計		目標	6,000	6,000	
			実績	5,967		
② 市民スポーツ祭等参加者数 (人)	↑ 市民スポーツ祭、少年スポーツ大会、レディーススポーツ大会、ニュースポーツフェスティバル、市民駅伝大会、市民ロードレース大会等市主催大会の参加者数		目標	17,000	18,000	
			実績	14,656		
③ 伊丹スポーツセンターの利 用者数(人)	↑ スポーツ施設の中心拠点であるスポーツセンターの利 用者数		目標	301,550	410,000	
			実績	395,300		

記号	事務 事業 コード	事務事業名	事業の内容
創	232101	スポーツの活動支援	スポーツクラブ21の活動支援
手創	232102	生涯スポーツに向けた環 境整備	一般市民の参加が中心となるスポーツ大会やイベント等の積極的な実施
段	□ 232103	新生涯スポーツ振興基本 計画ハード事業	市内体育施設の老朽化に伴い、計画的な整備を行う。
	◎ 232104	伊丹スポーツセンター施設 整備補助	スポーツセンターの施設整備(過年度)の補助
	◎ 232105	サタデージョギング教室	月1回、土曜日の午前中にジョギング教室の開催

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	ライフステージごとに学び活躍する人づくり			
施策コード	2322	施策名	伊丹の特色・資源・人材を活かしたスポーツ振興			
施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊丹生まれのニュースポーツ「いたっボール」等地域独自のスポーツ資源の活用と振興を図る。 ・伊丹ゆかりのスポーツである「なぎなた」を広めるとともに全国にアピールする。 					
目的	成果指標					
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H32 (最終)
	① 「いたっボール」講習会等参加者数(人)	↑	「いたっボール」講習等参加者数	目標 1,400	1,400	
	② なぎなた教室の受講者数(人)	↑	指定管理者との共催や伊丹スポーツセンターで開催しているなぎなた教室の年間受講者数	目標 150	150	
手段	事務事業コード	事務事業名	事業の内容			
	232201	全国高等学校なぎなた選抜大会	全国から選抜された高校生による、なぎなた競技の全国大会の開催			

政策目標	にぎわいと活力にあふれるまち	施策目標	個性とにぎわいあるまちづくり		
施策コード	3131	施策名	文化財の保存と情報発信		
目的	施策の目的 (目指すべき姿)	・史跡や文化財の良好な保存管理や情報の収集・発信を充実し、市民が文化財に親しめる環境を整備する。			
目的	成果指標				
	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度) H28 H32 (最終)	
① 文化財と博物館情報のアクセス数(アクセス数)	↑	ポータルサイト「いたみん」内の文化財「生涯学習提供システム」アクセス数+社会教育課HPアクセス数+博物館HPアクセス数の合計	目標 実績	64,400 101,117	
② 博物館利用者数(人)	↑	入館者、受講者、レファレンスなどを含む	目標 実績	45,000 44,856	
③ 歴史ロマン体験学習への参加者数(人)	↑	歴史ロマン体験学習への参加者数(人)	目標 実績	240 217	
手段	記号	事務事業コード	事務事業名	事業の内容	
創	◎	313101	博物館史料集刊行事業	旧村資料調査、震災資料調査、考古資料調査によって収集された資料をまとめ「史料集」として継続的に刊行する。	
		313102	文化財管理事業	・国指定史跡「有岡城跡」「伊丹廃寺跡」、県指定史跡「御願塚古墳」の除草・剪定・清掃業務及び維持管理業務の実施。 ・指定文化財の説明板の設置・修理。 ・その他文化財の管理業務。	
		313103	文化財発掘調査事業	・文化財保護法に基づく事務手続 ・開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 ・埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	
		◇	313104	伊丹廃寺跡史跡等買上げ事業	史跡指定地の買上げによる公有化を図り、史跡整備を進める。
		●	313105	旧村資料調査事業 & 「旧村シリーズ展示」	地域の昔話の聞き取り、神社・寺院・墓地・水路などの現地調査、地域に残る古い写真・古文書・民具など歴史・民俗史料の調査を行い、毎年1冊刊行する研究紀要『地域研究いたみ』誌上にて順次報告し、その後、年1回開催する「旧村シリーズ」展示にて一般に公開する。
		■	313106	口酒井遺跡用地活用事業	資産の有効活用のため、口酒井遺跡用地の活用策を検討する。

政策目標	にぎわいと活力にあふれるまち		施策目標	個性とにぎわいあるまちづくり									
施策コード	3132	施策名	文化財を活かしたまちづくり										
施策の目的 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史学習や文化財関連事業の実施により本市の歴史的・文化的遺産を次代に継承する。 ・文化財関係団体等を育成し、市民の文化財への意識の高揚を図る。 												
成果指標													
目的	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等		H26 (基準年度)	H28							
	① 歴史・文化が醸し出す伊丹 ロマン事業参加者数(人)	↑	ロマン事業として、テーマに合わせ実施する事業への 参加者数合計		目標 14,900	H32 (最終)							
	② 文化財保護関係団体会員 総数(人)	↑	文化財保護関係団体の会員・団員の合計		目標 1,330	1,370							
手段	③ 文化財ボランティア養成講 座受講者数(人)	↑	'伊丹市文化財ボランティアの会'の会員を養成する講 座受講生数		目標 20	20							
			実績 3										
記号 事務 事業 コード		事務事業名	事業の内容										
313201		歴史・文化が醸し出す伊丹 ロマン事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各文化財保護団体が主体となり、市民が文化財にふれあう事業を実施する。 ・身近な遺跡から発掘された埋蔵文化財を、社会教育施設・公共施設と連携 し、展示公開する。 										

VI 推進計画

1 計画の推進

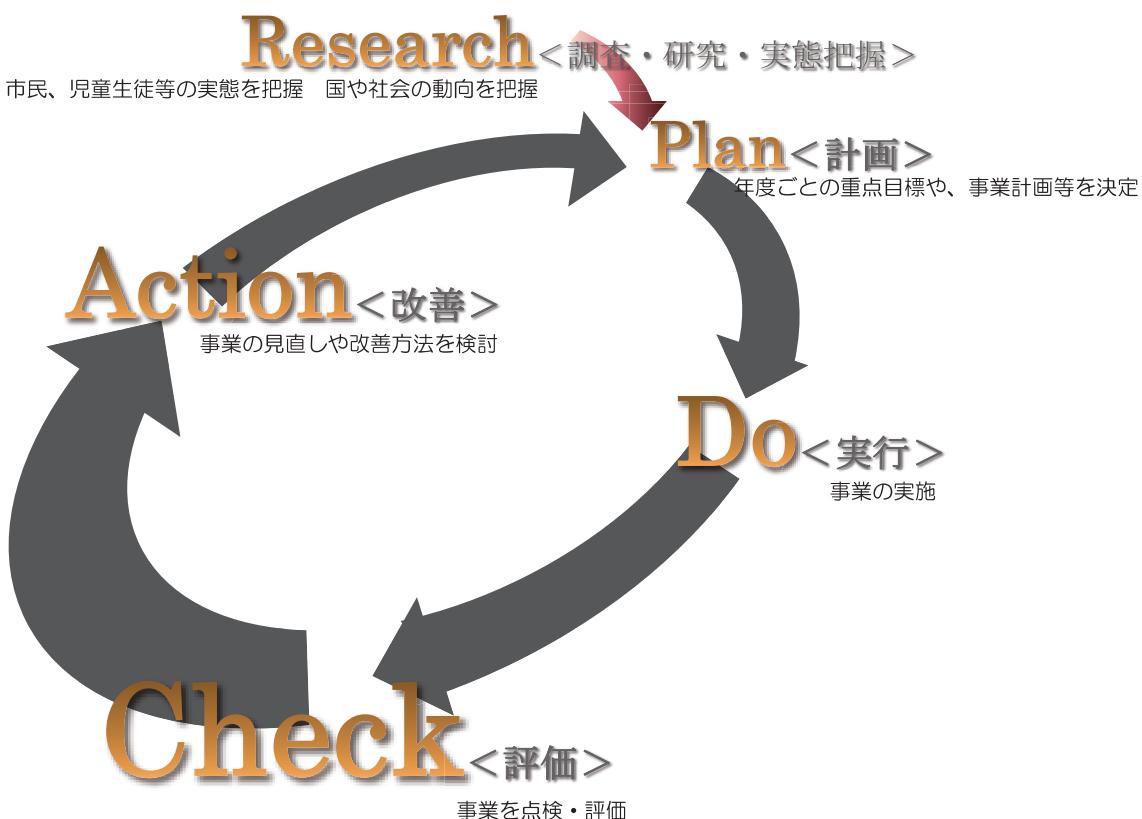
- 計画に位置づけた事業については、関係機関等との連携を図りながら、担当課が主体となって計画を進行管理し、推進する。
- 総合教育会議などにより、市長と教育委員会の共通理解を図り推進する。

2 計画の点検及び評価

- 計画に位置づけた事業の内容については、「伊丹の教育 事業実施計画」等により報告する。「伊丹の教育」は、伊丹市ホームページ上で公表する。
- 計画に位置づけた事業の評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、毎年度「伊丹の教育 成果報告編」等により公表する。

伊丹市第2次教育振興基本計画に基づき、担当課が主体となって事業を実施する。

毎年度、PDCAサイクルに基づく見直しを行い、次年度の事業に反映させる



伊丹市第2次教育振興基本計画
平成28年3月
発行 伊丹市教育委員会

27 教 409-1-105 A4

it.mi